

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が 2014 年 7 月 30 日に発表した 2014 年度上半期決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本文書と英文リリースとの間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements> よりご覧いただけます。

Barclays PLC Results Announcement

30 June 2015

バークレイズ・ピーエルシー
2015 年度上半期決算報告書

2015 年 7 月 29 日発表

目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	1-3
グループ執行役会長によるご挨拶	4
グループ財務担当取締役のレビュー	5-7
事業部門別業績	
• パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	8-9
• インベストメント・バンク	10-11
• バークレイズ・ノンコア	12-13
四半期業績	14-16
四半期コア事業部門別業績	17-21
業績管理	
• 事業部門別のリターンおよび株主資本	22-23
• 利ざやおよび残高	24
リスク管理	
• リスク管理およびプリンシパル・リスク	25
• 資金調達リスク – 流動性	26-29
• 資金調達リスク – 資本	30-33
• 信用リスク	34-38
• 市場リスク	39
要約連結財務書類	40-44
財務書類に対する注記(抜粋)	
• 人件費(原文注記 2)	45
• 引当金(原文注記 11)	46-47
• セグメント別開示引当金(原文注記 19)	48-49
• バークレイズ・ピーエルシー親会社貸借対照表(原文注記 20)	50

戦略の継続的な推進:

- グループの調整後税引前利益はコア部門の全事業の改善を反映し、11%増加し、37億2,900万ポンドとなりました。グループの調整後平均株主資本利益率は7.7%に上昇しました(2014年度上半期:6.5%)。
- 各事業の平均株主資本利益率はいずれも堅調で、コア部門の平均株主資本利益率は11.1%に上昇しました(2014年度上半期:11.0%)。平均割当株主資本は60億ポンド増加し470億ポンドとなりましたが、これは収益がコスト以上に伸び、税引前利益が10%増加し、42億4,100万ポンドとなったためです。
- ノンコア部門の資産圧縮は一段と進展し、リスク調整後資産は570億ポンドに減少しました(2014年12月:750億ポンド)。ノンコア部門の平均割当株主資本は40億ポンド減少して100億ポンドとなり、ノンコア部門がグループの平均株主資本利益率に与える希釈度は3.4%となりました(2014年度:4.5%)。
- 資本基盤およびレバレッジ面の取り組みが大きく進展し、CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier1 (CET1) 資本比率は11.1%に上昇し(2014年12月:10.3%)、レバレッジ比率も4.1%に上昇し(2014年12月:3.7%)、当グループの2016年目標を達成しました。
- 戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果を受け、調整後営業費用合計は7%減少し、82億6,200万ポンドとなりました。目標達成費用を除く営業費用は5%減少し、79億4,600万ポンドとなりました。
- 業界全体を対象とする外国為替市場における特定のセールスおよびトレーディングの実態に関する調査ならびに業界全体を対象とする米ドルの ISDAfix ベンチマーク設定に関する調査に関連し、2015年度第2四半期に一部の当局と16億800万ポンドで和解に達したことで、訴訟および特定行為に係る旧来の懸案事項の処理に関する進展がありました。
- 1株当たりの正味有形資産価値額は279ペンスに減少しました(2014年12月:285ペンス)。配当支払いと主要フォワード金利および為替の変動が剰余金に与えた影響が当期の利益を上回ったためです。
- 調整項目が6億1,500万ポンドの純損失(2014年度上半期:8億4,800万ポンドの純損失)となったことなどから法定税引前利益は、25%増加し、31億1,400万ポンドとなりました。

重要な調整項目:

- 主に外国為替に関連して進行中の調査および訴訟に係る引当金8億ポンドの追加繰入れを2015年度上半期に行いました(2014年度上半期:ゼロポンド)。これにより引当金残高合計は20億5,000万ポンドとなりました。
- 将来の補償および関連費用に関する最新の見積もりに基づき、英国顧客への補償に係る引当金10億3,200万ポンドの追加繰入れを行いました(2014年度上半期:9億ポンド)。これは2015年度第2四半期の8億5,000万ポンドの追加繰入れを含みます。
- リーマン・ブラザーズ・インクの管財人と係争中だった訴訟が和解に達したことを受け、米国リーマン買収資産に係る利益4億9,600万ポンドを2015年度第2四半期に認識しました(2014年度上半期:ゼロポンド)。
- 確定退職給付負債の一部の評価を法令の条項に合わせたことに伴い、4億2,900万ポンドの利益を認識しました(2014年度上半期:ゼロポンド)。
- スペイン事業の売却の完了に伴い、主に累積為替再評価換算差額として計上していた1億1,800万ポンドの損失を組替調整額として2015年度第1四半期の損益に計上しました(2014年度上半期:ゼロポンド)。

業績ハイライト

当グループの業績(半期)

	調整後			法定		
	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	12,982	13,332	(3)	13,888	13,384	4
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(973)	(1,086)	10	(973)	(1,086)	10
営業収益純額	12,009	12,246	(2)	12,915	12,298	5
営業費用	(7,812)	(8,172)	4	(7,383)	(8,172)	10
訴訟および特定行為	(134)	(211)	36	(1,966)	(1,111)	(77)
目標達成費用を除く営業費用	(7,946)	(8,383)	5	(9,349)	(9,283)	(1)
目標達成費用	(316)	(494)	36	(316)	(494)	36
営業費用合計	(8,262)	(8,877)	7	(9,665)	(9,777)	1
その他の費用純額	(18)	(20)	10	(136)	(20)	
税引前利益	3,729	3,349	11	3,114	2,501	25
税金 ¹	(1,077)	(1,109)	3	(1,006)	(895)	(12)
税引後利益	2,652	2,240	18	2,108	1,606	31
非支配持分	(338)	(390)	13	(338)	(390)	13
その他株主持分 ²	(159)	(90)	(77)	(159)	(90)	(77)
株主帰属利益	2,155	1,760	22	1,611	1,126	43
パフォーマンス指標						
平均有形株主資本利益率 ²	9.1%	7.5%		6.9%	4.9%	
平均有形株主資本	480億ポンド	470億ポンド		480億ポンド	470億ポンド	
平均株主資本利益率 ²	7.7%	6.5%		5.9%	4.2%	
平均株主資本	560億ポンド	550億ポンド		560億ポンド	540億ポンド	
収益に対する費用の比率	64%	67%		70%	73%	
貸倒率(ベース・ポイント)	40	45		40	45	
基本的1株当たり利益 ²	13.1ペンス	10.9ペンス		9.9ペンス	7.0ペンス	
1株当たり配当金	2.0ペンス	2.0ペンス		2.0ペンス	2.0ペンス	

貸借対照表およびレバレッジ

	2015年 6月30日	2014年 12月31日
1株当たりの正味有形資産価額	279ペンス	285ペンス
1株当たりの純資産価額	328ペンス	335ペンス
レバレッジ・エクスポージャー	11,390億ポンド	12,330億ポンド

資本管理

CRD IV 完全施行ベース

	2015年 6月30日	2014年 12月31日
普通株式 Tier 1 比率	11.1%	10.3%
普通株式 Tier 1 資本	420億ポンド	415億ポンド
Tier 1 資本	465億ポンド	460億ポンド
リスク調整後資産	3,770億ポンド	4,020億ポンド
レバレッジ比率	4.1%	3.7%

資金調達および流動性

	2015年 6月30日	2014年 12月31日
グループ余剰流動性	1,450億ポンド	1,490億ポンド
推計 CRD IV 流動性カバレッジ比率	121%	124%
預貸率 ³	88%	89%

調整後利益の分析(半期)

	2015年 6月30日に 終了した半期	2014年 6月30日に 終了した半期
調整後税引前利益	3,729	3,349
当グループ自身の信用度に関連する利益	410	52
米国リーマン買収資産に係る利益	496	-
確定退職給付負債の一部に係る評価益	429	-
主に外国為替に関連する進行中の調査および訴訟に係る引当金	(800)	-
英国顧客への補償に係る引当金	(1,032)	(900)
スペイン事業の売却に係る損失	(118)	-
法定税引前利益	3,114	2,501

1 2015年度上半期の実効税率は、一時的な重要事項の影響を調整した通年の予想税率を適用しています。こうした重要事項にかかる税金の影響はそれらが発生した期間に認識されます。重要事項には調整項目や英国銀行税などが含まれます。

2 その他の株主に帰属する税引後利益1億5,900万ポンド(2014年度上半期:9,000万ポンド)は剰余金に計上する税額控除3,200万ポンド(2014年度上半期:1,900万ポンド)によって相殺されます。相殺後残高である1億2,700万ポンド(2014年度上半期:7,100万ポンド)は、非支配持分(NCI)とともに、1株当たり利益、平均有形株主資本利益率および平均株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。

3 預貸率はパーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア・リテールに係るものです。

業績ハイライト

パークレイズ・コアおよびノンコアの業績(半期)	パークレイズ・コア			パークレイズ・ノンコア		
	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	12,940	12,674	2	42	658	(94)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(936)	(937)	-	(37)	(149)	75
営業収益純額	12,004	11,737	2	5	509	(99)
営業費用	(7,359)	(7,314)	(1)	(453)	(860)	47
訴訟および特定行為	(89)	(177)	50	(45)	(33)	(36)
目標達成費用	(293)	(453)	35	(23)	(41)	44
営業費用合計	(7,741)	(7,944)	3	(521)	(934)	44
その他の(費用)／収益純額	(22)	47		4	(66)	
税引前利益／(損失)	4,241	3,840	10	(512)	(491)	(4)
税金(費用)／還付	(1,250)	(1,233)	(1)	173	124	40
税引後利益／(損失)	2,991	2,607	15	(339)	(367)	8
非支配持分	(306)	(315)	3	(32)	(75)	57
その他株主持分	(128)	(68)	(88)	(31)	(22)	(41)
株主帰属利益／(損失)	2,557	2,224	15	(402)	(464)	13
パフォーマンス指標						
平均有形株主資本利益率 ¹	13.4%	13.5%		(4.3%)	(6.0%)	
平均割当有形株主資本	390億ポンド	330億ポンド		100億ポンド	140億ポンド	
平均株主資本利益率 ¹	11.1%	11.0%		(3.4%)	(4.5%)	
平均割当株主資本	470億ポンド	410億ポンド		100億ポンド	140億ポンド	
期末割当株主資本	470億ポンド	420億ポンド		80億ポンド	130億ポンド	
収益に対する費用の比率	60%	63%		n/m	n/m	
貸倒率(ベース・ポイント)	44	46		10	45	
基本的1株当たり利益への寄与	15.5ペンス	13.8ペンス		(2.4ペンス)	(2.9ペンス)	
資本管理						
	2015年 6月30日	2014年 12月31日		2015年 6月30日	2014年 12月31日	
リスク調整後資産	3,200億ポンド	3,270億ポンド		570億ポンド	750億ポンド	
レバレッジ・エクスポージャー	9,730億ポンド	9,560億ポンド		1,660億ポンド	2,770億ポンド	

事業部門別収益	2015年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
	パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	4,384	
パークレイカード	2,357	2,124	11
アフリカ・バンキング	1,858	1,773	5
インベストメント・バンク	4,299	4,257	1
本社	42	159	(74)
パークレイズ・コア	12,940	12,674	2
パークレイズ・ノンコア	42	658	(94)
パークレイズ・グループ調整後収益合計	12,982	13,332	(3)

事業部門別税引前利益／(損失)	2015年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
	パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,528	
パークレイカード	795	764	4
アフリカ・バンキング	540	484	12
インベストメント・バンク	1,440	1,058	36
本社	(62)	66	
パークレイズ・コア	4,241	3,840	10
パークレイズ・ノンコア	(512)	(491)	(4)
パークレイズ・グループ調整後税引前利益	3,729	3,349	11

¹ パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コアの利益率の差を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率を示すものではありません。

グループ執行役会長によるご挨拶

本日発表した 2015 年度上半期の業績は事業が順調に進展し続けていることを物語っています。

グループの利益は調整後ベース、法定ベースともに増加しました。コア部門のフランチャイズは好調な業績を上げることができました。ノンコア部門の資産圧縮は進展し、コストは引き続き削減されています。また、不適切な営業行為に係る問題の処理に引き続き取り組んでいます。全面的な解決には至っていませんが、当上半期に外国為替および ISDAfix に関連する問題で一部の当局と和解に達したことを発表しました。普通株式 Tier1 (CET1) 資本比率は 11%、レバレッジ比率は 4%をそれぞれ上回り、喜ばしく思っています。これらの実績は満足できるものと考えていますが、中期的には、成長に向けた資金調達と資本比率の向上という 2つの課題のバランスを取りながら、引き続き資本増強に取り組んでいきます。

現在のパークレイズは数々の優れた事業を展開していますが、戦略の遂行を加速させる必要があります。株主リターンをより迅速に高めるために出来ることはまだあります。今月初めにグループ執行役会長に就任して以降、私はグループの 3つの優先事項を定め、それらに着手し始めました。

第一の優先事項はコア・フランチャイズへの集中をさらに進め、当グループの戦略を遂行することです。当グループの強み、強みを持つ地域、経済的観点から魅力的なビジネスに注力します。

これは当グループの主力フランチャイズである英国リテールおよび商業銀行業務、欧州および米国における投資銀行業務、カード事業、アフリカ地域を中心に取り組みや投資を進めていくことを意味します。また、利益がほとんどない事業や株主資本利益率が必要値に届かない事業の縮小を迅速に進めます。

パークレイズ・ノンコアについては、適切な計画の下に資産の圧縮を加速することで、2017年にノンコアのリスク調整後資産を約 200億ポンドまで削減しコア部門への再統合を目指します。

私自身はインベストメント・バンクの最近の業績に満足しています。2015年度上半期の利益率は 2桁に達しました。インベストメント・バンクに与えられた課題は翌期以降、この成果を持続的な経済利益率へと変えていくことです。

当グループの第二の優先事項は株主価値の実現を加速させることです。

当上半期の業績でとりわけ喜ばしかったのは、利益が大幅に回復する一方で、コストは法定ベースで概ね横ばいとどまったことにより、CET1 比率を初めて 11%台に上昇し、レバレッジ比率も 4%を上回り、両比率とも当グループの 2016年目標を達成したことです。

しかしながら、グループの法定株主資本利益率は 5.9%と株主資本コストを大幅に下回っています。また、収益に対する費用の比率は 70%と当グループの事業構成に照らすと高い水準にあります。

利益の拡大、株主資本利益率の向上、資本増加を加速させる必要があります。そのために、最低でも市場と同程度のペースで収益を伸ばし、グループの収益に対する費用の比率を 50%台半ばまで引き下げ一方で、資本の増大と注入を賢明に進めていく方針です。こうして株主資本コストを上回るグループ株主資本利益率の達成を目指します。

強固な資本基盤を維持しつつ、事業リターンの改善と戦略遂行の加速に注力する中、取締役会は 2015年度の配当計画について、2014年度と同じ 6.5ペンスとするのが妥当であると判断しました。今後は、特定の配当性向レンジを目標とするよりも、株主リターンを実現していく上で配当利回りが持つ重要性を認識しながら、持続可能で漸進的な配当政策を維持することを目指してまいります。

私はグループの新たな目標を策定するのではなく、まだ達成していない目標を堅持することを明言します。CET1 比率が 11%に達した現在、当グループが目指す最終的な状態に到達するように時間をかけて改善に取り組んでいく所存です。

第三の優先事項は価値観重視の文化の向上を支えに高いパフォーマンス倫理とプロセスをグループに浸透させることです。お客様中心のアプローチの大幅な強化、無益で煩雑な官僚的な体制の合理化と排除、各事業活動における直接的な説明責任の確立に取り組むことが必要です。重要なのは、厳格な管理の下、当グループの価値観と調和する方法でこれらを実行し、正しい方法で事業を拡大していくことです。

当グループの前進を加速するために出来る取り組みはたくさんあり、それは既に始まっています。

グループ執行役会長 ジョン・マクファーレン

損益計算書

グループの業績

- 調整後税引前利益はコア部門の全事業の改善を反映し、11%増加し、37億2,900万ポンドとなりました。
- 調整後収益は3%減少し、129億8,200万ポンドとなりました。コア部門収益が2%増加し、129億4,000万ポンドとなったことで一部相殺されたものの、ノンコア部門収益が6億1,600万ポンド減少し、4,200万ポンドとなったためです。
- 減損費用は10%減少し、9億7,300万ポンドとなり、グループの貸倒率は5ベース・ポイント改善し、40ベース・ポイントとなりました。
- 調整後営業費用合計は特にノンコア、インベストメント・バンク各部門における戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果を受け、7%減少して、82億6,200万ポンドとなりました。目標達成費用は3億1,600万ポンド(2014年度上半期:4億9,400万ポンド)、訴訟および特定行為に係る費用は1億3,400万ポンドでした(2014年度上半期:2億1,100万ポンド)。
- 法定税引前利益は31億1,400万ポンドとなりました(2014年度上半期:25億100万ポンド)。これは、英国顧客への補償に係る引当金の追加繰入額10億3,200万ポンド(2014年度上半期:9億ポンド)、米国リーマン買収資産に係る利益4億9,600万ポンド(2014年度上半期:ゼロポンド)、主に外国為替に関連する進行中の調査および訴訟に係る追加引当金繰入額8億ポンド(2014年度上半期:ゼロポンド)、確定退職給付負債の一部に係る評価益4億2,900万ポンド(2014年度上半期:ゼロポンド)、スペイン事業の売却に係る損失1億1,800万ポンド(2014年度上半期:ゼロポンド)、当グループ自身の信用度に関連する利益4億1,000万ポンド(2014年度上半期:5,200万ポンド)を含みます。
- 調整後税引前利益の実効税率は28.9%に低下しました(2014年度上半期:33.1%)。法定税引前利益の実効税率は32.3%に低下しました(2014年度上半期:35.8%)。この低下は、調整項目や英国銀行税など、一過的な重要事項の影響を調整した通年の予想税率を適用していることを反映しています。これらの影響はそれぞれ発生した期間に認識されます。
- 調整後株主帰属利益は21億5,500万ポンドとなり(2014年度上半期:17億6,000万ポンド)、その結果、調整後平均株主資本利益率は7.7%となりました(2014年度上半期:6.5%)。

コア部門の業績

- 税引前利益は10%増加し、42億4,100万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門は36%増の14億4,000万ポンド、アフリカ・バンキング部門は12%増の5億4,000万ポンド、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)部門は4%増の15億2,800万ポンド、パークレイカード部門は4%増の7億9,500万ポンドでした。
- 収益は2%増加し、129億4,000万ポンドとなりました。
 - パークレイカード部門の収益は米国カード事業およびビジネス・ソリューションズの増収を反映し、11%増加し、23億5,700万ポンドとなりました。
 - アフリカ・バンキング部門の収益は5%増加し、18億5,800万ポンドとなりました。南アフリカのリテール・バンキング事業の立て直しが続くことを受け、リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)が大幅な増収となったことを反映しています。
 - PCB部門の収益は1%増加し、43億8,400万ポンドとなりました。モーゲージの利ざやに対する圧力を受けたパーソナル事業の減収により一部相殺されたものの、コーポレート事業が順調に伸びたためです。
 - PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキング各部門の利息収入純額はPCBにおける貸付金および預金の大幅な増加ならびに利ざやの改善、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの取引量の伸びを反映し、7%増加し、59億7,500万ポンドとなりました。純利ざやは11ベース・ポイント上昇し、4.17%となりました。
 - インベストメント・バンク部門の収益は1%増加し、42億9,900万ポンドとなりました。バンキングおよびクレジットの減収により一部相殺されたものの、金利および為替商品の増収によるマクロの収益改善と株式の増収を反映しています。
- 信用に関する減損費用は9億3,600万ポンドと横ばいでした(2014年度上半期:9億3,700万ポンド)。これは、英国の経済環境の改善を背景に、債務不履行率が低下し、コーポレート関連の費用が減少したことによってPCB部門の減損費用が減少したものの、2014年6月から貸付金が11%増加したことに伴うパークレイカードにおける5%の増加により相殺されました。貸倒率は2ベース・ポイント低下し、44ベース・ポイントとなりました。
- 営業費用合計は3%減少し、77億4,100万ポンドとなりました。主にインベストメント・バンク部門における戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果と目標達成費用の2億9,300万ポンドへの減少(2014年度:4億5,300万ポンド)を反映しています。パークレイカードの営業費用合計は19%増加し、10億1,700万ポンドとなりました。事業拡大に向けた持続的な投資、特定のマーケティング費用などの一過的な項目の影響、2014年度上半期に計上したVAT還付が当期はなかったことを主に反映しています。
- 株主帰属利益は15%増加し、25億5,700万ポンドとなり、一方、平均割当株主資本はノンコア部門の資本の再分配に伴い60億ポンド増加し、470億ポンドとなりました。その結果、コア部門の平均株主資本利益率は11.1%に上昇しました(2014年度上半期:11.0%)

ノンコア部門の業績

- 税引前損失は以下を反映し、5億1,200万ポンドに増加しました(2014年度上半期:4億9,100万ポンド)。
 - 資産および証券の圧縮、スペイン事業売却の影響を含む事業の売却、教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオに関連する公正価値損失1億7,500万ポンド(2014年度上半期:2,900万ポンド)を受け、収益は6億1,600万ポンド減少し、4,200万ポンドとなりました。
 - 減損費用は、主にスペイン事業の売却と欧州の債権回収の増加を反映し、3,700万ポンドに改善しました(2014年度上半期:1億4,900万ポンド)。
 - 営業費用合計は戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果、スペイン事業の売却、目標達成費用の減少を受け、44%減少し、5億2,100万ポンドとなりました。
- 平均割当株主資本の100億ポンドへの減少(2014年度上半期:140億ポンド)を反映し、ノンコア部門の平均株主資本利益率に与えるマイナス影響は3.4%となりました(2014年度上半期:マイナス4.5%)。期末割当株主資本は80億ポンドに減少しました(2014年12月:110億ポンド)。

貸借対照表および資本

貸借対照表

- 資産合計はデリバティブおよびリバース・レポ取引の減少を主因に 2014 年 12 月 31 日と比べて 12%減少し、1 兆 1,970 億ポンドとなりました。
 - 貸付金合計は 50 億ポンド増加し、4,750 億ポンドとなりました。決済残高および現金担保残高が純額で 80 億ポンド増加しましたが、ノンコア部門で欧州リテール資産の圧縮を受けて 30 億ポンド減少したことにより一部相殺されました。
- 顧客預り金は 110 億ポンド増加し、4,380 億ポンドとなりました。事業圧縮の影響を受けたノンコア部門での 20 億ポンドの減少により一部相殺されたものの、決済残高の増加によりインベストメント・バンク部門で 120 億ポンド増加したことを主に受けています。
- 株主資本合計(非支配持分を含む)は 656 億ポンドとなりました(2014 年 12 月:660 億ポンド)。非支配持分を除いた株主資本は 593 億ポンドとなりました(2014 年 12 月:596 億ポンド)。これは、フォワード金利の変動の影響によるキャッシュフロー・ヘッジ再評価差額の 6 億ポンドの減少と南アフリカ・ランド、ユーロ、米ドルに対する英ポンドの上昇に伴う為替換算再評価差額の 5 億ポンドの減少を含む、その他の剰余金の 14 億ポンドの減少を反映していますが、従業員持株制度の下での株式発行と株式配当に伴う株式資本および株式剰余金の 7 億ポンドの増加、18 億ポンドの利益計上に伴う利益剰余金の 4 億ポンドの増加(7 億ポンドの配当支払いおよび従業員持株制度に関連する 7 億ポンドの株式権利確定による相殺後)により一部相殺されました。
- 1 株当たりの純資産価額は 328 ペンスに減少し(2014 年 12 月:335 ペンス)、1 株当たりの正味有形資産価額は 279 ペンスに減少しました(2014 年 12 月:285 ペンス)。これは、上述のとおり、株主資本の全体的な減少が当期の利益計上を上回ったためです。

レバレッジ・エクスポージャー

- レバレッジ・エクスポージャーは以下を受け、940 億ポンド減少し、1 兆 1,390 億ポンドとなりました。
 - 証券金融取引は IFRS リバース・レポ取引が 930 億ポンドと 390 億ポンド減少したことを主因に 400 億ポンド減少しました。これは、貸借対照表のレバレッジの削減によりマッチド・ブック取引が減少したためです。
 - デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー(PFE)は、旧来からの不良ポートフォリオの持続的な圧縮と取引の圧縮および解消を含む事業活動の最適化を進めたことを主に受け、190 億ポンド減少し、1,600 億ポンドとなりました。
 - PFE を除くデリバティブ・レバレッジ・エクスポージャーは、デリバティブ・ネットtingが 3,080 億ポンドと 870 億ポンド減少したことで一部相殺されたものの、IFRS 資産が 990 億ポンド減少し 3,410 億ポンドとなったことから、260 億ポンド減少しました。この減少は主に主要金利フォワード・カーブの上方シフトと旧来からの不良ポートフォリオの持続的な圧縮によるものです。

資本比率

- CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は、リスク調整後資産が 250 億ポンド減少し 3,770 億ポンドになったことと、CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本が 5 億ポンド増加し 420 億ポンドになったことから 11.1%に上昇しました(2014 年 12 月:10.3%)。
 - CET1 資本の増加は調整項目吸収後の利益 18 億ポンドによるものです。当グループ自身の信用度に関連する利益の影響と規制上の配当支払いおよび配当原資産の吸収後の利益による資本創出を受け、CET1 資本は 3 億ポンド増加しました。
 - リスク調整後資産の減少は、スペイン事業の売却、旧来からの仕組商品およびクレジット商品の圧縮を含め、ノンコア部門が 190 億ポンド減少し、570 億ポンドになったこと、ならびにトレーディング勘定のリスク資産圧縮によりインベストメント・バンク部門で 70 億ポンド減少したことが主因です。
- レバレッジ・エクスポージャーが 1 兆 1,390 億ポンドに減少したことを受け(2014 年 12 月:1 兆 2,330 億ポンド)、レバレッジ比率は 4.1%に上昇しました(2014 年 12 月:3.7%)。

資金調達および流動性

- 2015 年度上半期に、当グループは内部および規制上の要件を上回る余剰を維持しており、余剰流動性は 1,450 億ポンドでした(2014 年 12 月:1,490 億ポンド)。流動性カバレッジ比率(LCR)は 121%に低下しました(2014 年 12 月:124%)。これは 260 億ポンドの余剰に相当します(2014 年 12 月:300 億ポンド)。この余剰流動性は、信用格付機関によるソブリン・サポートの見直しに伴う信用格付けの変更に関連する資金流出に備えるために確保したものです。信用格付けの変更は 2015 年度第 2 四半期に実施されましたが、予想される資金調達への影響は 2015 年度上半期末時点でまだ完全には顕在化していません。
- ホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は 1,570 億ポンドでした(2014 年 12 月:1,710 億ポンド)。当グループは 2015 年度上半期に期限前償還控除後の純額で 60 億ポンドのターム資金調達を実施しました。うち、30 億ポンドは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーが発行したシニア無担保債でした。これらの調達資金は事業会社であるパークレイズ・バンク・ピーエルシーにおけるシニア無担保債の引き受けに充当されました。これは持株会社に資本・資金調達を集約するモデルへの移行が一段と進展したことを示しています。

その他の事項

- 法律、競争および規制関連事項に係る引当金残高は 4 億 8,400 万ポンドです(2014 年 12 月:16 億 9,000 万ポンド)。
 - 主に外国為替に関連する進行中の調査および訴訟に係る引当金 8 億ポンドの追加繰入れを行いました(2014 年度上半期:ゼロポンド)。これにより引当金残高合計は 20 億 5,000 万ポンドとなりました。業界全体を対象とする外国為替市場における特定のセールスおよびトレーディングの実態に関する調査ならびに業界全体を対象とする米ドルの ISDAFIX ベンチマーク設定に関する調査に関連し、2015 年度第 2 四半期に一部の当局と 16 億 800 万ポンドで和解に至りました。
- 英国顧客への補償に係る引当金 10 億 3,200 万ポンド(2015 年度上半期の 8 億 5,000 万ポンドを含む)の追加繰入れを行いました(2014 年度上半期:9 億ポンド)。これは将来の補償費用に関する最新の見積もり 7 億 5,000 万ポンド(2014 年度上半期:9 億ポンド)に基づく支払保障保険(PPI)に係る補償引当金の追加繰入れを含みます。このうち、6 億ポンドを 2015 年度第 2 四半期に認識しました。2015 年 6 月現在、PPI に係る補償引当金残高は 12 億 6,800 万ポンドでした(2014 年 12 月:10 億 5,900 万ポンド)。
- 米国リーマン買収資産に係る利益 4 億 9,600 万ポンドを 2015 年度第 2 四半期に認識しました(2014 年度上半期:ゼロポンド)。パークレイズは 2008 年 9 月の大半のリーマン・ブラザーズ資産の取得に関連し、当事者間で係争中であった訴訟を解決するため、リーマン・ブラザーズ・インクの証券投資家保護法管財人と和解に達しました。
- 確定退職給付負債の一部の評価で使用していた小売価格指数を、法定基準に準じて長期消費者物価指数に変更したことに伴い、2015 年度第 1 四半期に 4 億 2,900 万ポンドの利益を認識しました(2014 年度上半期:ゼロポンド)。
- スペイン事業の売却の完了に伴い、主に累積為替再評価換算差額として計上していた 1 億 1,800 万ポンドの損失を 2015 年度第 1 四半期に組替調整額として損益に計上しました(2014 年度上半期:ゼロポンド)。

配当

- 取締役会は株主に配当金として収益を還元することの重要性を認識しておりますが、ある特定の配当性向の範囲を目標とするのではなく、長期的に持続可能かつ徐々に増配できるような方法で配当金を還元していきたいと考えています。
- 強固な資本基盤を維持しつつ、事業リターン改善と戦略遂行の加速に注力することを勧告し、取締役会は 2015 年度の配当計画について、2014 年度と同じ 6.5 ペンスとするのが妥当であると判断しました。
- 第 2 中間期の配当金 1 ペンスは 2015 年 9 月 14 日に支払われる予定です。

パークレイズ・ノンコアに関する指針

- 2014 年に個別部門としてパークレイズ・ノンコア部門を設立して以来、同部門の縮小を促進してきました。ノンコア部門のリスク調整後資産は 2013 年 12 月の 1,100 億ポンドから 570 億ポンドに削減され、2015 年 6 月時点の割当株主資本は、2013 年 12 月末現在の 151 億ポンドから減少してグループ全体の資本の 15%にあたる 83 億ポンドになりました。
- 資本要件と営業損失の減少を通して、ノンコア部門がグループの財務に与える影響を低下させるために利用できる選択肢が見えてきました。これに従い、2017 年末までにノンコア部門のリスク調整後資産を 200 億ポンド程度までに削減する計画です。その時点でノンコア部門はコア部門と再統合され、引き続き縮小されます。この新たな指針は、2016 年末までにノンコア部門のリスク調整後資産を 450 億ポンドまで削減するという従来の指針に代わるものです。

グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

事業部門別業績

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング

損益計算書関連の情報

	2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
営業収益純額	3,203	3,057	5
手数料収入純額およびその他の収益	1,181	1,304	(9)
収益合計	4,384	4,361	1
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(178)	(230)	23
営業収益純額	4,206	4,131	2
営業費用	(2,466)	(2,525)	2
訴訟および特定行為	(25)	(29)	14
目標達成費用	(139)	(115)	(21)
営業費用合計	(2,630)	(2,669)	1
その他の(費用)／収益純額	(48)	6	
税引前利益	1,528	1,468	4
株主帰属利益	1,102	1,039	6

貸借対照表関連の情報

	2015年 6月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 (億ポンド)	2014年 6月30日現在 (億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,175	2,170	2,167
資産合計	2,899	2,850	2,681
顧客預り金	2,985	2,992	2,983
リスク調整後資産	1,206	1,202	1,179

重要な数値

	2015年6月30日 に終了した半期	2014年6月30日 に終了した半期
モーゲージ貸出の平均 LTV ¹	51%	55%
新規モーゲージ貸出の平均 LTV ¹	62%	64%
顧客資産 ²	1,426 億ポンド	1,513 億ポンド
支店数	1,448	1,546

パフォーマンス指標

	2015年6月30日 に終了した半期	2014年6月30日 に終了した半期
平均有形株主資本利益率	16.4%	16.1%
平均割当有形株主資本	136 億ポンド	130 億ポンド
平均株主資本利益率	12.3%	12.1%
平均割当株主資本	181 億ポンド	173 億ポンド
収益に対する費用の比率	60%	61%
貸倒率(ベース・ポイント)	16	21

収益合計内訳

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
パーソナル	2,014	2,053	(2)
コーポレート	1,877	1,768	6
ウェルス	493	540	(9)
収益合計	4,384	4,361	1

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)内訳

	2015年 6月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 (億ポンド)	2014年 6月30日現在 (億ポンド)
パーソナル	1,378	1,368	1,359
コーポレート	660	651	648
ウェルス	137	151	160
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	2,175	2,170	2,167

顧客預り金内訳

	2015年 6月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 (億ポンド)	2014年 6月30日現在 (億ポンド)
パーソナル	1,463	1,458	1,416
コーポレート	1,203	1,222	1,237
ウェルス	319	312	330
顧客預り金合計	2,985	2,992	2,983

¹ モーゲージ貸付と新規モーゲージ貸付の平均 LTV は残高加重ベースで算出したものです。

² 運用資産、保管資産、管理資産を含む、パークレイズが顧客に代わり運用または管理している資産ならびにウェルスの顧客預り金および顧客貸付金を含みます。

事業部門別業績

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング

損益計算書 – 2015 年度上半期と 2014 年度上半期の比較

- 税引前利益は 15 億 2,800 万ポンドと 4%増加し、平均株主資本利益率は 12.3%となりました(2014 年度上半期:12.1%)。営業費用合計は自動化の進展と正味で 98 支店の閉鎖を受けて減少しました。また、デジタル化と各種販路で顧客満足度の向上に向けた投資を進めたことも営業費用の減少につながりました。減損費用は英国の経済環境の改善を受けて減少しました。
- ウェルスで米国の顧客への補償および先に発表した米国事業の売却に関連する費用 1 億 7,100 万ポンドを計上したことが PCB の業績に大きく影響しました。収益は 2,900 万ポンド、営業費用は目標達成費用 5,600 万ポンドを含めて 8,700 万ポンドの影響を受けました。また、その他の費用純額には売却損 5,500 万ポンドが含まれています。
- 収益合計は 1%増加し、43 億 8,400 万ポンドとなりました。
 - パーソナル・バンキングの収益は、残高の増加と預金利ざやの改善により一部相殺されたものの、既存顧客の金利変更によるモーゲージ利ざやへの圧力と手数料収入の減少を受けて 2%減少し、20 億 1,400 万ポンドとなりました。
 - コーポレートの収益は 6%増加し、18 億 7,700 万ポンドとなりました。平均貸付金残高および預金残高がともに増加し、貸付利ざやの縮小により一部相殺されたものの、預金利ざやが改善しました。
 - ウェルスの収益は米国の顧客への補償の影響を主因に 9%減少し、4 億 9,300 万ポンドとなりました。
 - 利息収入純額は利ざやの改善、貸付金および預金の増加、ならびに 2014 年度下半期に当座預金収入の大半を手数料収入ではなく利息収入純額として認識する処理方法に変更したことを受けて 5%増加し、32 億 300 万ポンドとなりました。
 - 純利ざやは 5 ベーシス・ポイント改善し、3.01%となりました。コーポレートおよびパーソナルの預金利ざやの上昇を受けたものですが、既存顧客の金利変更によるモーゲージ利ざやに対する圧力の影響により一部相殺されました。
 - 手数料収入純額およびその他の収益は 2014 年度下半期に実施した当座預金に関する処理方法の変更と米国の顧客への補償の影響により 9%減少し、11 億 8,100 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は 23%改善し、1 億 7,800 万ポンドとなり、貸倒率は 5 ベーシス・ポイント低下し、16 ベーシス・ポイントとなりました。英国の経済環境の改善を背景に、特にコーポレートで英国の大企業顧客の債務不履行の減少によって改善がみられたことを反映しています。
- 営業費用合計は 1%減少し、26 億 3,000 万ポンドとなりました。これは、支店網の再編と自動化促進のための技術改善に関連する戦略的コスト・プログラムによるコスト削減効果を反映していますが、先に発表した米国ウェルス事業の売却に関連する 5,600 万ポンドの目標達成費用により一部相殺されました。
- 顧客資産は先に発表した米国ウェルス事業の売却と進行中である戦略的市場撤退を主因に 87 億ポンド減少し、1,426 億ポンドとなりました。

貸借対照表 – 2015 年 6 月 30 日と 2014 年 12 月 31 日の比較

- 顧客に対する貸付金はモーゲージおよびコーポレートの貸付の伸びを受けて 5 億ポンド増加し、2,175 億ポンドとなりました。
- 資産合計は、余剰流動性の配分および顧客に対する貸付金の伸びを受けて 49 億ポンド増加し、2,899 億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は 7 億ポンド減少し、2,985 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は主にモーゲージおよびコーポレートの貸付の伸びを受けて 4 億ポンド増加し、1,206 億ポンドとなりました。

事業部門別業績

インベストメント・バンク

	2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
営業収益純額	276	334	(17)
トレーディング収益純額	2,423	2,137	13
手数料収入純額およびその他の収益	1,600	1,786	(10)
収益合計	4,299	4,257	1
信用に関する減損およびその他の引当金(費用)ノ戻入	(1)	26	
営業収益純額	4,298	4,283	-
営業費用	(2,738)	(2,848)	4
訴訟および特定行為	(57)	(95)	40
目標達成費用	(63)	(282)	78
営業費用合計	(2,858)	(3,225)	11
税引前利益	1,440	1,058	36
株主帰属利益	761	435	75

	2015年 6月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 (億ポンド)	2014年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	1,231	1,063	1,172
トレーディング・ポートフォリオ資産	818	948	1,012
デリバティブ資産	1,185	1,526	1,042
デリバティブ負債	1,277	1,606	1,095
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	584	643	830
資産合計	4,201	4,557	4,462
リスク調整後資産	1,153	1,224	1,239

パフォーマンス指標

	2015年6月30日 に終了した半期	2014年6月30日 に終了した半期
平均有形株主資本利益率	10.9%	6.0%
平均割当有形株主資本	142億ポンド	147億ポンド
平均株主資本利益率	10.2%	5.7%
平均割当株主資本	151億ポンド	154億ポンド
収益に対する費用の比率	66%	76%

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計内訳			
インベストメント・バンキング手数料	1,135	1,174	(3)
貸付	205	169	21
バンキング	1,340	1,343	-
クレジット	546	616	(11)
株式	1,235	1,220	1
マクロ	1,178	1,056	12
市場	2,959	2,892	2
バンキングと市場	4,299	4,235	2
その他	-	22	
収益合計	4,299	4,257	1

¹ 2015年6月30日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金991億ポンド(2014年12月:864億ポンド)(決済残高404億ポンド(2014年12月:258億ポンド))および現金担保286億ポンド(2014年12月:322億ポンド)を含む、銀行に対する貸付金240億ポンド(2014年12月:199億ポンド)(決済残高59億ポンド(2014年12月:27億ポンド))および現金担保64億ポンド(2014年12月:69億ポンド)を含む)を含みます。

インベストメント・バンク

損益計算書 – 2015 年度上半期と 2014 年度上半期の比較

- 税引前利益は 36%増加し、14 億 4,000 万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門はオリジネーションを牽引役とする戦略を引き続き進展させました。また、2015 年度上半期はギリシャとユーロ圏を巡る不透明感を背景に市場のボラティリティが高まったことが規模を見直したマクロ事業に追い風をもたらしました。収益の拡大に加え、コスト削減とリスク調整後資産の効率化に引き続き注力した結果、平均株主資本利益率は 10.2%となりました(2014 年度上半期:5.7%)。
- 収益合計は 1%増加し、42 億 9,900 万ポンドとなりました。
 - バンキング業務の収益は 13 億 4,000 万ポンドと横ばいでした(2014 年度上半期:13 億 4,300 万ポンド)。インベストメント・バンキング手数料収入は株式引受手数料および財務アドバイザー手数料の減少を受けて 3%減少し、11 億 3,500 万ポンドとなりました。貸付収益はヘッジの公正価値損失の減少を受けて 21%増加し、2 億 500 万ポンドとなりました。
 - 市場業務の収益は 2%増加し、29 億 5,900 万ポンドとなりました。
 - 株式の収益は 1%増加し、12 億 3,500 万ポンドとなりました。株式デリバティブの減収によって一部相殺されたものの、株式資金調達および現物株による収益が増加したためです。
 - マクロの収益は市場のボラティリティ上昇を映し、金利および為替商品が増収となったことで、12%増加し、11 億 7,800 万ポンドとなりました。
 - クレジットの収益は、クレジット・フロー・トレーディングの増収により一部相殺されたものの、ディストレス・クレジットおよび証券化商品の減収により 11%減少し、5 億 4,600 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は 100 万ポンドでした(2014 年度上半期:2,600 万ポンドの戻入れ)。
- 営業費用合計は 11%減少し、28 億 5,800 万ポンドとなりました。目標達成費用の減少、報酬費用の減少ならびに事業の再配置、システムの廃棄および不動産インフラの縮小を含む、戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果を反映しています。

貸借対照表 – 2015 年 6 月 30 日と 2014 年 12 月 31 日の比較

- デリバティブ資産および負債は主要金利フォワード・カーブの上方シフトを受け、それぞれ 22%減の 1,185 億ポンド、20%減の 1,277 億ポンドとなりました。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は持分証券の減少を受けて 14%減少し、818 億ポンドとなりました。
- 資産合計は、顧客および銀行に対する貸付金の決済残高の増加により一部相殺されたものの、デリバティブ資産、トレーディング・ポートフォリオ資産、リバース・レポ取引の減少を受けて 8%減少し、4,201 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は、トレーディング勘定におけるリスクの減少を主に受けて 6%減少し、1,153 億ポンドとなりました。

事業部門別業績

パークレイズ・ノンコア

	2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率(%)
損益計算書関連の情報			
営業収益純額	128	183	(30)
トレーディング収益純額	(250)	116	
手数料収入純額およびその他の収益	331	514	(36)
収益合計	209	813	(74)
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(167)	(155)	(8)
保険金控除後の収益合計	42	658	(94)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(37)	(149)	75
営業収益純額	5	509	(99)
営業費用	(453)	(860)	47
訴訟および特定行為	(45)	(33)	(36)
目標達成費用	(23)	(41)	44
営業費用合計	(521)	(934)	44
その他の収益/(費用)純額	4	(66)	
税引前損失	(512)	(491)	(4)
株主帰属損失	(402)	(464)	13

	2015年 6月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 (億ポンド)	2014年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	539	639	755
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	170	187	170
トレーディング・ポートフォリオ資産	116	159	229
デリバティブ資産	2,209	2,854	2,270
デリバティブ負債	2,136	2,771	2,150
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	156	493	868
資産合計	3,382	4,715	4,686
顧客預り金	196	216	286
リスク調整後資産	566	753	875
レバレッジ・エクスポージャー	1,663	2,775	3,817

	2015年6月30日 に終了した半期	2014年6月30日 に終了した半期
パフォーマンス指標		
平均有形株主資本利益率 ²	(4.3%)	(6.0%)
平均割当有形株主資本	97億ポンド	142億ポンド
平均株主資本利益率 ²	(3.4%)	(4.5%)
平均割当株主資本	98億ポンド	145億ポンド
期末割当株主資本	83億ポンド	127億ポンド

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計内訳			
事業部門	275	546	(50)
証券および貸付金	(115)	153	
デリバティブ	(118)	(41)	
保険金控除後の収益合計	42	658	(94)

1 2015年6月30日現在の貸付金には、顧客に対する貸付金427億ポンド(2014年12月:516億ポンド)(決済残高10億ポンド(2014年12月:16億ポンド)と現金担保180億ポンド(2014年12月:221億ポンド)を含む)、および銀行に対する貸付金112億ポンド(2014年12月:123億ポンド(決済残高2億ポンド(2014年12月:3億ポンド)と現金担保105億ポンド(2014年12月:113億ポンド)を含む)が含まれています。

2 パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コアの利益率の差を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率を示すものではありません。

パークレイズ・ノンコア

損益計算書 – 2015 年度上半期と 2014 年度上半期の比較

- 税引前損失は 4%増加し、5 億 1,200 万ポンドとなりました。パークレイズ・ノンコアでは 2015 年度上半期に事業、証券、デリバティブ資産の撤退と圧縮が順調に進捗し続けました。リスク調整後資産は 2014 年 12 月と比べてさらに 187 億ポンド減少し、566 億ポンドとなりました。
- 保険金控除後の収益合計は 94%減少し、4,200 万ポンドとなりました。
 - 事業収益はスペイン事業の売却と旧来からのポートフォリオ資産の売却および縮小の影響により、50%減少し、2 億 7,500 万ポンドとなりました。
 - 証券および貸付金の収益は 2 億 6,800 万ポンド減少し、1 億 1,500 万ポンドの損失となりました。訴訟関連引当金戻入れ 9,100 万ポンドにより一部相殺されたものの、ESHLA ポートフォリオの公正価値評価損 1 億 7,500 万ポンド(2014 年度上半期: 2,900 万ポンド)と証券の積極的な圧縮が主因です。
 - デリバティブ収益は 7,700 万ポンド減少し、1 億 1,800 万ポンドの損失となりました。これはポートフォリオの積極的な圧縮と公正価値の変動を反映しています。
- 信用に関する減損費用はスペイン事業の売却と欧州の債権回収の増加を受けて 75%減少し、3,700 万ポンドとなりました。
- 営業費用合計はスペイン、アラブ首長国連邦、コモディティ、複数の自己勘定投資事業からの撤退に伴う費用削減効果を反映し、44%減少し、5 億 2,100 万ポンドとなりました。

貸借対照表 – 2015 年 6 月 30 日と 2014 年 12 月 31 日の比較

- 銀行および顧客に対する貸付金は 16%減少し、539 億ポンドとなりました。これは資産圧縮による欧州リテール貸付金の減少と現金担保残高の減少によるものです。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は旧来からのポートフォリオ資産の売却、縮小によって 27%減少し、116 億ポンドとなりました。
- デリバティブ資産および負債は主要金利フォワード・カーブの上方シフトと取引持ち高の解消を受け、ともに 23%減少し、それぞれ 2,209 億ポンド、2,136 億ポンドとなりました。
- 資産合計は 28%減少し、3,382 億ポンドとなりました。デリバティブ資産、リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付、銀行および顧客に対する貸付金、トレーディング・ポートフォリオ資産の減少を反映しています。
- レバレッジ・エクスポージャーはデリバティブおよびリバース・レポ取引の減少により 40%減少し、1,663 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産はスペイン事業の売却、旧来からの仕組商品およびクレジット商品の圧縮を含め、187 億ポンド減少し、566 億ポンドとなりました。期末割当株主資本は 27 億ポンド減少し、83 億ポンドとなりました。

四半期業績

	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期 ¹	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ²
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パークレイズ四半期業績								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	6,552	6,430	6,018	6,378	6,682	6,650	6,639	6,445
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(496)	(477)	(573)	(509)	(538)	(548)	(718)	(722)
営業収益純額	6,056	5,953	5,445	5,869	6,144	6,102	5,921	5,723
営業費用	(3,897)	(3,915)	(3,942)	(3,879)	(4,042)	(4,130)	(4,500)	(4,223)
訴訟および特定行為	(77)	(57)	(140)	(98)	(146)	(65)	(277)	(39)
目標達成費用	(196)	(120)	(339)	(332)	(254)	(240)	(468)	(101)
英国銀行税	-	-	(462)	-	-	-	(504)	-
営業費用合計	(4,170)	(4,092)	(4,883)	(4,309)	(4,442)	(4,435)	(5,749)	(4,363)
その他の(費用)/収益純額	(37)	19	1	30	(46)	26	19	25
調整後税引前利益	1,849	1,880	563	1,590	1,656	1,693	191	1,385
調整項目								
当グループ自身の信用度に関連する利益	282	128	(62)	44	(67)	119	(95)	(211)
米国リーマン買収資産に係る利益	496	-	-	461	-	-	-	-
ESHLA ポートフォリオに係る評価の見直し	-	-	(935)	-	-	-	-	-
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	429	-	-	-	-	-	-
主に外国為替に関連する進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	(800)	(750)	(500)	-	-	-	-
英国顧客への補償に係る引当金	(850)	(182)	(200)	(10)	(900)	-	-	-
のれんの減損	-	-	-	-	-	-	(79)	-
スペイン事業の売却に係る損失	-	(118)	(82)	(364)	-	-	-	-
法定税引前利益/(損失)	1,777	1,337	(1,466)	1,221	689	1,812	17	1,174
税金(費用)/還付	(394)	(612)	85	(601)	(298)	(597)	(531)	(446)
法定税引後利益/(損失)	1,383	725	(1,381)	620	391	1,215	(514)	728
以下に帰属するもの:								
親会社の普通株主	1,146	465	(1,679)	379	161	965	(642)	511
その他の株主	79	80	80	80	41	49	-	-
非支配持分	158	180	218	161	189	201	128	217
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	11,967	14,164	13,579	13,657	13,149	13,621	13,436	n/a
リスク調整後資産	3,767	3,959	4,019	4,129	4,111	4,363	4,425	n/a
調整後パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	9.1%	9.0%	1.7%	7.1%	7.5%	7.6%	(3.4%)	6.7%
平均有形株主資本	477 億ポンド	487 億ポンド	489 億ポンド	476 億ポンド	475 億ポンド	472 億ポンド	471 億ポンド	435 億ポンド
平均株主資本利益率	7.8%	7.7%	1.5%	6.1%	6.4%	6.5%	(2.9%)	5.7%
平均株主資本	560 億ポンド	570 億ポンド	571 億ポンド	556 億ポンド	553 億ポンド	548 億ポンド	549 億ポンド	513 億ポンド
収益に対する費用の比率	64%	64%	81%	68%	66%	67%	87%	68%
貸倒率(ベース・ポイント)	41	37	48	42	44	45	59	58
基本的1株当たり利益/(損失)	6.5 ペンス	6.6 ペンス	1.3 ペンス	5.2 ペンス	5.4 ペンス	5.5 ペンス	(2.8 ペンス)	5.4 ペンス
法定パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	9.8%	4.0%	(13.8%)	3.4%	1.4%	8.4%	(5.5%)	4.8%
平均有形株主資本	472 億ポンド	481 億ポンド	483 億ポンド	468 億ポンド	467 億ポンド	464 億ポンド	463 億ポンド	428 億ポンド
平均株主資本利益率	8.4%	3.4%	(11.8%)	2.9%	1.2%	7.2%	(4.7%)	4.0%
平均株主資本	555 億ポンド	563 億ポンド	564 億ポンド	548 億ポンド	545 億ポンド	540 億ポンド	541 億ポンド	506 億ポンド
収益に対する費用の比率	68%	71%	116%	70%	81%	66%	89%	70%
基本的1株当たり利益/(損失)	7.0 ペンス	2.9 ペンス	(10.2 ペンス)	2.4 ペンス	1.0 ペンス	6.0 ペンス	(4.5 ペンス)	3.8 ペンス

1 2015年度第1四半期の調整後営業費用合計および税引前利益は、2015年度第2四半期との比較可能性を高めるため、英国顧客への補償に係る費用3,200万ポンドの再分類を含めるよう修正されています。

2 リスク調整後資産はCRD IV完全施行ベースのものです。CRD IVは2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。表中の平均割当株主資本と平均割当有形株主資本は推計CRD IVベースで掲載しています。貸借対照表の比較数値も国際会計基準第32号(IAS32)「金融商品:表示」の相殺に関する修正を採用した結果、2013年度第4四半期から修正再表示されています。従って2013年度第3四半期の比較数値はありません。

四半期業績

パークレイズ・コア	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期 ¹	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ²
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	6,520	6,420	5,996	6,008	6,397	6,277	6,189	6,076
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(488)	(448)	(571)	(492)	(456)	(481)	(542)	(554)
営業収益純額	6,032	5,972	5,425	5,516	5,941	5,796	5,647	5,522
営業費用	(3,663)	(3,696)	(3,614)	(3,557)	(3,602)	(3,710)	(4,045)	(3,758)
訴訟および特定行為	(41)	(48)	(56)	(16)	(136)	(43)	(69)	(18)
目標達成費用	(184)	(109)	(298)	(202)	(237)	(216)	(365)	(84)
英国銀行税	-	-	(371)	-	-	-	(395)	-
営業費用合計	(3,888)	(3,853)	(4,339)	(3,775)	(3,975)	(3,969)	(4,874)	(3,860)
その他の(費用)／収益純額	(39)	17	9	6	27	20	15	15
税引前利益	2,105	2,136	1,095	1,747	1,993	1,847	788	1,677
株主帰属利益	1,273	1,284	638	1,002	1,171	1,053	601	1,009
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	8,585	9,496	8,865	8,993	8,463	8,637	8,324	n/a
リスク調整後資産	3,201	3,311	3,266	3,319	3,236	3,303	3,326	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	13.3%	13.5%	7.0%	11.5%	13.8%	13.2%	7.6%	15.1%
平均割当有形株主資本	386 億ポンド	385 億ポンド	370 億ポンド	352 億ポンド	340 億ポンド	322 億ポンド	314 億ポンド	267 億ポンド
平均株主資本利益率	11.0%	11.1%	5.8%	9.5%	11.3%	10.7%	6.2%	11.8%
平均割当株主資本	467 億ポンド	467 億ポンド	450 億ポンド	430 億ポンド	416 億ポンド	396 億ポンド	389 億ポンド	342 億ポンド
収益に対する費用の比率	60%	60%	72%	63%	62%	63%	79%	64%

1 2015年度第1四半期の調整後営業費用合計および税引前利益は、2015年度第2四半期との比較可能性を高めるため、英国顧客への補償に係る費用3,200万ポンドの再分類を含めるよう修正されています。

2 リスク調整後資産はCRD IV完全移行ベースのもので、CRD IVは2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。表中の平均割当株主資本と平均割当有形株主資本は推計CRD IVベースで掲載しています。貸借対照表の比較数値も国際会計基準第32号(IAS32)「金融商品:表示」の相殺に関する修正を採用した結果、2013年度第4四半期から修正再表示されています。従って2013年度第3四半期の比較数値はありません。

四半期業績

パークレイズ・ノンコア	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ¹
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
事業部門	153	122	228	327	245	301	322	354
証券および貸付金	(42)	(73)	(142)	106	66	87	121	60
デリバティブ	(79)	(39)	(64)	(63)	(26)	(15)	7	(46)
保険金控除後の収益合計	32	10	22	370	285	373	450	368
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(8)	(29)	(2)	(17)	(82)	(67)	(176)	(168)
営業収益／(費用)純額	24	(19)	20	353	203	306	274	200
営業費用	(234)	(219)	(329)	(321)	(441)	(419)	(456)	(464)
訴訟および特定行為	(36)	(9)	(83)	(82)	(10)	(23)	(208)	(21)
目標達成費用	(12)	(11)	(41)	(130)	(17)	(24)	(103)	(17)
英国銀行税	-	-	(91)	-	-	-	(109)	-
営業費用合計	(282)	(239)	(544)	(533)	(468)	(466)	(876)	(502)
その他の収益／(費用)純額	2	2	(8)	23	(72)	6	4	10
税引前損失	(256)	(256)	(532)	(157)	(337)	(154)	(598)	(292)
株主帰属損失	(203)	(199)	(448)	(173)	(294)	(171)	(997)	(274)
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース)	539	656	639	645	755	834	819	n/a
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	170	185	187	181	170	175	176	n/a
トレーディング・ポートフォリオ資産	116	146	159	192	229	294	307	n/a
デリバティブ資産	2,209	3,019	2,854	2,496	2,270	2,315	2,393	n/a
デリバティブ負債	2,136	2,956	2,771	2,400	2,150	2,209	2,283	n/a
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付 貸付	156	428	493	739	868	983	1,047	n/a
資産合計	3,382	4,668	4,715	4,665	4,686	4,984	5,112	n/a
顧客預り金	196	205	216	222	286	307	293	n/a
リスク調整後資産	566	648	753	810	875	1,060	1,099	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率 ²	(4.2%)	(4.5%)	(5.3%)	(4.4%)	(6.3%)	(5.6%)	(11.0%)	(8.4%)
平均割当有形株主資本	91 億ポンド	102 億ポンド	119 億ポンド	124 億ポンド	135 億ポンド	150 億ポンド	157 億ポンド	168 億ポンド
平均株主資本利益率 ²	(3.2%)	(3.4%)	(4.3%)	(3.4%)	(4.9%)	(4.2%)	(9.1%)	(6.1%)
平均割当株主資本	93 億ポンド	103 億ポンド	121 億ポンド	126 億ポンド	137 億ポンド	152 億ポンド	160 億ポンド	171 億ポンド
期末割当株主資本	83 億ポンド	97 億ポンド	110 億ポンド	121 億ポンド	127 億ポンド	149 億ポンド	151 億ポンド	163 億ポンド

1 リスク調整後資産はCRD IV 完全施行ベースのものです。CRD IV は2013 年度第4 四半期から導入されたため、2013 年度第3 四半期の比較数値はありません。平均割当株主資本と有形株主資本は推計CRD IV ベースで掲載しています。貸借対照表の比較数値も国際会計基準第32号(IAS32)「金融商品：表示」の相殺に関する修正を採用した結果、2013 年度第4 四半期から修正再表示されています。従って2013 年度第3 四半期の比較数値はありません。

2 パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コアの利益率の差を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率を示すものではありません。

四半期コア事業部門別業績

パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期 ¹	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ²
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	2,210	2,174	2,231	2,236	2,188	2,173	2,166	2,252
信用に関する減損費用およびその他の 引当金繰入額	(99)	(79)	(123)	(129)	(95)	(135)	(169)	(153)
営業収益純額	2,111	2,095	2,108	2,107	2,093	2,038	1,997	2,099
営業費用	(1,232)	(1,234)	(1,204)	(1,222)	(1,247)	(1,278)	(1,371)	(1,313)
訴訟および特定行為	(23)	(2)	(15)	(10)	(9)	(20)	(17)	(5)
目標達成費用	(97)	(42)	(195)	(90)	(58)	(57)	(219)	(73)
英国銀行税	-	-	(70)	-	-	-	(66)	-
営業費用合計	(1,352)	(1,278)	(1,484)	(1,322)	(1,314)	(1,355)	(1,673)	(1,391)
その他の(費用)/収益純額	(50)	2	4	4	1	5	3	1
税引前利益	709	819	628	789	780	688	327	709
株主帰属利益	500	602	441	578	559	480	281	518
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,175	2,190	2,170	2,157	2,167	2,155	2,122	2,101
資産合計	2,899	2,941	2,850	2,757	2,681	2,715	2,785	2,783
顧客預り金	2,985	2,981	2,992	2,959	2,983	2,972	2,959	2,893
リスク調整後資産	1,206	1,225	1,202	1,200	1,179	1,161	1,183	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	14.9%	17.8%	13.3%	17.8%	17.5%	14.7%	8.6%	15.4%
平均割当有形株主資本	136 億ポンド	136 億ポンド	134 億ポンド	131 億ポンド	129 億ポンド	131 億ポンド	131 億ポンド	135 億ポンド
平均株主資本利益率	11.2%	13.4%	10.0%	13.4%	13.1%	11.1%	6.5%	11.8%
平均割当株主資本	181 億ポンド	181 億ポンド	178 億ポンド	175 億ポンド	172 億ポンド	174 億ポンド	174 億ポンド	176 億ポンド
収益に対する費用の比率	61%	59%	67%	59%	60%	62%	77%	62%
貸倒率(ベース・ポイント)	18	14	22	23	17	25	31	28
収益合計内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パーソナル	1,005	1,009	1,045	1,061	1,027	1,026	1,037	1,033
コーポレート	970	907	922	902	889	879	866	956
ウェルス	235	258	264	273	272	268	263	263
収益合計	2,210	2,174	2,231	2,236	2,188	2,173	2,166	2,252
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)内訳	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル	1,378	1,375	1,368	1,365	1,359	1,349	1,338	1,327
コーポレート	660	665	651	631	648	642	625	625
ウェルス	137	150	151	161	160	164	159	149
顧客に対する貸付金合計(償却原価ベース)	2,175	2,190	2,170	2,157	2,167	2,155	2,122	2,101
顧客預り金内訳								
パーソナル	1,463	1,453	1,458	1,430	1,416	1,413	1,405	1,392
コーポレート	1,203	1,209	1,222	1,207	1,237	1,209	1,185	1,145
ウェルス	319	319	312	322	330	350	369	356
顧客預り金合計	2,985	2,981	2,992	2,959	2,983	2,972	2,959	2,893

1 2015年度第1四半期の調整後営業費用合計および税引前利益は、2015年度第2四半期との比較可能性を高めるため、英国顧客への補償に係る費用3,200万ポンドの再分類を含めるよう修正されています。

2 リスク調整後資産はCRD IV完全施行ベースのものです。CRD IVは2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。平均割当株主資本と有形株主資本は推計CRD IVベースで掲載しています。

四半期コア事業部門別業績

パークレイカード	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ¹
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	1,222	1,135	1,109	1,123	1,082	1,042	1,034	1,050
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(273)	(290)	(362)	(284)	(268)	(269)	(266)	(290)
営業収益純額	949	845	747	839	814	773	768	760
営業費用	(496)	(465)	(456)	(449)	(420)	(402)	(446)	(442)
訴訟および特定行為	-	-	-	-	-	-	(11)	(13)
目標達成費用	(31)	(25)	(50)	(32)	(23)	(13)	(38)	(6)
英国銀行税	-	-	(29)	-	-	-	(22)	-
営業費用合計	(527)	(490)	(535)	(481)	(443)	(415)	(517)	(461)
その他の収益純額	7	11	1	4	25	10	5	12
税引前利益	429	366	213	362	396	368	256	311
株主帰属利益	307	259	137	262	285	254	169	214
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	369	368	366	348	332	319	315	304
資産合計	419	424	413	389	362	350	344	334
顧客預り金	77	80	73	65	59	58	51	47
リスク調整後資産	403	399	399	386	377	364	357	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	24.9%	21.0%	11.2%	21.8%	24.7%	22.6%	16.1%	20.2%
平均割当有形株主資本	50 億ポンド	50 億ポンド	49 億ポンド	48 億ポンド	46 億ポンド	45 億ポンド	42 億ポンド	42 億ポンド
平均株主資本利益率	19.7%	16.6%	9.0%	17.5%	19.7%	18.2%	12.7%	15.9%
平均割当株主資本	63 億ポンド	63 億ポンド	62 億ポンド	60 億ポンド	58 億ポンド	56 億ポンド	53 億ポンド	54 億ポンド
収益に対する費用の比率	43%	43%	48%	43%	41%	40%	50%	44%
貸倒率(ベース・ポイント)	283	305	374	309	309	325	320	360

¹ リスク調整後資産はCRD IV 完全施行ベースのもので、CRD IV は2013 年度第4 四半期から導入されたため、2013 年度第3 四半期の比較数値はありません。平均割当株主資本と有形株主資本は推計CRD IV ベースで掲載しています。

四半期コア事業部門別業績

アフリカ・バンキング	2015年度		2014年度		2014年度		2013年度	
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期 ¹
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	910	948	963	928	895	878	980	1,004
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(103)	(90)	(79)	(74)	(100)	(96)	(104)	(101)
営業収益純額	807	858	884	854	795	782	876	903
営業費用	(557)	(559)	(590)	(572)	(545)	(537)	(616)	(605)
訴訟および特定行為	-	-	(1)	(1)	-	-	-	-
目標達成費用	(7)	(6)	(23)	(11)	(8)	(9)	(15)	(2)
英国銀行税	-	-	(45)	-	-	-	(42)	-
営業費用合計	(564)	(565)	(659)	(584)	(553)	(546)	(673)	(607)
その他の収益純額	2	2	3	2	2	4	-	3
税引前利益	245	295	228	272	244	240	203	299
株主帰属利益	96	112	88	91	78	103	30	104
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	338	357	352	345	338	350	349	365
資産合計	540	578	555	546	524	541	549	573
顧客預り金	344	350	350	334	332	340	346	354
リスク調整後資産	364	393	385	379	365	366	380	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	13.2%	14.7%	11.9%	13.1%	11.3%	15.5%	4.2%	14.1%
平均割当有形株主資本	29 億ポンド	31 億ポンド	29 億ポンド	28 億ポンド	28 億ポンド	27 億ポンド	28 億ポンド	30 億ポンド
平均株主資本利益率	9.7%	10.8%	8.7%	9.5%	8.1%	11.1%	3.0%	10.0%
平均割当株主資本	39 億ポンド	41 億ポンド	40 億ポンド	38 億ポンド	38 億ポンド	37 億ポンド	40 億ポンド	41 億ポンド
収益に対する費用の比率	62%	60%	68%	63%	62%	62%	69%	60%
貸倒率(ベース・ポイント)	112	94	83	79	111	104	105	104
恒常通貨ベース²								
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	910	913	919	906	870	851		
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(103)	(87)	(75)	(71)	(97)	(93)		
営業収益純額	807	826	844	835	773	758		
営業費用	(557)	(539)	(564)	(559)	(530)	(521)		
訴訟および特定行為	-	-	(1)	(1)	-	-		
目標達成費用	(7)	(6)	(22)	(10)	(9)	(8)		
英国銀行税	-	-	(45)	-	-	-		
営業費用合計	(564)	(545)	(632)	(570)	(539)	(529)		
その他の収益純額	2	2	3	1	2	4		
税引前利益	245	283	215	266	236	233		
株主帰属利益	96	107	83	88	80	99		
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	338	337	332	331	321	321		
資産合計	540	546	522	522	499	497		
顧客預り金	344	330	331	320	316	313		
リスク調整後資産	364	370	363	363	347	336		

1 リスク調整後資産はCRD IV 完全施行ベースのものです。CRD IV は2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。

2 恒常通貨ベースの数字は、報告期間による為替レートの変動の影響を排除するため、南アフリカランド連の業績を、損益計算書に関しては2015年6月30日に終了した3ヶ月間の平均為替レートで、貸借対照表については2015年6月30日現在の為替レート(終値)で英ポンドに換算しています。

四半期コア事業部門別業績

インベストメント・バンク	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ¹
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
インベストメント・バンキング手数料	586	549	527	410	661	513	571	526
貸付	122	83	111	137	66	103	68	42
バンキング	708	632	638	547	727	616	639	568
クレジット	272	274	173	255	270	346	231	308
株式	616	619	431	395	629	591	421	524
マクロ	554	624	424	470	504	552	494	457
市場	1,442	1,517	1,028	1,120	1,403	1,489	1,146	1,289
バンキングと市場	2,150	2,149	1,666	1,667	2,130	2,105	1,785	1,857
その他	-	-	-	(2)	24	(2)	(3)	(6)
収益合計	2,150	2,149	1,666	1,665	2,154	2,103	1,782	1,851
信用に関する減損(費用)／戻入および その他の引当金繰入額	(12)	11	(7)	(5)	7	19	(6)	(10)
営業収益純額	2,138	2,160	1,659	1,660	2,161	2,122	1,776	1,841
営業費用	(1,328)	(1,410)	(1,351)	(1,305)	(1,357)	(1,491)	(1,575)	(1,373)
訴訟および特定行為	(13)	(44)	(33)	(1)	(85)	(10)	(31)	-
目標達成費用	(32)	(31)	(22)	(70)	(152)	(130)	(71)	(3)
英国銀行税	-	-	(218)	-	-	-	(236)	-
営業費用合計	(1,373)	(1,485)	(1,624)	(1,376)	(1,594)	(1,631)	(1,913)	(1,376)
税引前利益／(損失)	765	675	35	284	567	491	(137)	465
株主帰属利益／(損失)	417	344	(150)	112	204	231	(74)	283
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価 ベース)	1,231	1,344	1,063	1,231	1,172	1,297	1,045	n/a
トレーディング・ポートフォリオ資産	818	991	948	988	1,012	1,012	966	n/a
デリバティブ資産	1,185	1,759	1,526	1,314	1,042	999	1,087	n/a
デリバティブ負債	1,277	1,860	1,606	1,376	1,095	1,067	1,166	n/a
リバース・レボ取引およびその他類 似の担保貸付	584	580	643	828	830	866	782	n/a
資産合計	4,201	5,096	4,557	4,884	4,462	4,694	4,380	n/a
リスク調整後資産	1,153	1,230	1,224	1,279	1,239	1,252	1,244	n/a
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	12.2%	9.7%	(3.9%)	3.3%	5.6%	6.4%	(2.1%)	7.5%
平均割当有形株主資本	139 億ポンド	145 億ポンド	147 億ポンド	142 億ポンド	148 億ポンド	147 億ポンド	144 億ポンド	151 億ポンド
平均株主資本利益率	11.5%	9.1%	(3.7%)	3.1%	5.3%	6.1%	(2.0%)	7.2%
平均割当株主資本	148 億ポンド	154 億ポンド	156 億ポンド	150 億ポンド	155 億ポンド	154 億ポンド	151 億ポンド	157 億ポンド
収益に対する費用の比率	64%	69%	97%	83%	74%	78%	107%	74%

¹ リスク調整後資産はCRD IV 完全施行ベースのもので、CRD IV は2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。平均割当株主資本と有形株主資本は推計CRD IV ベースで掲載しています。貸借対照表の比較数値も国際会計基準第32号(IAS32)「金融商品:表示」の相殺に関する修正を採用した結果、2013年度第4四半期から修正再表示されています。従って2013年度第3四半期の比較数値はありません。

四半期コア事業部門別業績

本社	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期 ¹
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計／(費用)	28	14	27	56	78	81	227	(81)
信用に関する減損(費用)／戻入および その他の引当金繰入額	(1)	-	-	-	-	-	3	-
営業収益／(費用)純額	27	14	27	56	78	81	230	(81)
営業費用	(50)	(28)	(11)	(9)	(34)	(3)	(37)	(25)
訴訟および特定行為	(5)	(2)	(8)	(4)	(42)	(12)	(10)	-
目標達成費用	(17)	(5)	(8)	-	5	(7)	(22)	-
英国銀行税	-	-	(9)	-	-	-	(29)	-
営業費用合計	(72)	(35)	(36)	(13)	(71)	(22)	(98)	(25)
その他の収益／(費用)純額	2	2	-	(3)	(1)	1	7	(1)
税引前(損失)／利益	(43)	(19)	(9)	40	6	60	139	(107)
株主帰属(損失)／利益	(47)	(33)	122	(41)	45	(15)	192	(110)
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	526	457	491	415	433	337	266	n/a
リスク調整後資産	75	63	56	75	76	160	162	n/a
平均割当有形株主資本	32	23	11	3	(11)	(28)	(31)	(91)
平均割当株主資本	36	28	14	7	(7)	(25)	(29)	(86)

¹ リスク調整後資産はCRD IV 完全施行ベースのものです。CRD IV は2013年度第4四半期から導入されたため、2013年度第3四半期の比較数値はありません。平均割当株主資本と有形株主資本は推計CRD IV ベースで掲載しています。貸借対照表の比較数値も国際会計基準第32号(IAS32)「金融商品：表示」の相殺に関する修正を採用した結果、2013年度第4四半期から修正再表示されています。従って2013年度第3四半期の比較数値はありません。

事業部門別のリターンおよび株主資本

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、該当期間の親会社の普通株主に帰属する利益(その他の持分商品に係る利払いに関して剰余金として計上されている税額控除を調整後)を該当期間の平均割当株主資本または平均割当有形株主資本(下記アフリカ・バンキング以外の事業部門の非支配持分およびその他の株主持分を除く)で適宜除して算出されます。割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む CRD IV 完全施行ベースでの資本控除を調整した後、各事業部門の CRD IV 完全施行ベースのリスク調整後資産の 10.5%として算出されます。本社の株主資本には CRD IV 完全施行ベースの CET 1 資本比率と 10.5%との差により生じる非割当の当グループの株主資本が含まれます。割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

アフリカ・バンキングの平均株主資本利益率の計算で使用されている株主資本は、(依然としてパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に属していないパークレイズのエジプトおよびジンバブエ事業の持分と併せた)パークレイズの BAGL 法定持分およびこれらの事業の買収に伴うパークレイズののれんです。有形株主資本利益率の有形株主資本も同じベースで計算されていますが、買収に伴うパークレイズののれんと BAGL 法定資本に含まれるのれんおよび無形資産は除外されます。

	2015年6月30日に 終了した半期	2014年6月30日に 終了した半期
平均有形株主資本利益率	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	16.4%	16.1%
パークレイカード	22.9%	23.6%
アフリカ・バンキング	14.0%	13.3%
インベストメント・バンク	10.9%	6.0%
パークレイズ・コア(本社を除く)	14.9%	12.6%
本社の影響 ¹	(1.5%)	0.9%
パークレイズ・コア	13.4%	13.5%
パークレイズ・ノンコアの影響 ¹	(4.3%)	(6.0%)
調整後パークレイズ・グループ合計	9.1%	7.5%

	2015年6月30日に 終了した半期	2014年6月30日に 終了した半期
平均株主資本利益率	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	12.3%	12.1%
パークレイカード	18.2%	18.9%
アフリカ・バンキング	10.3%	9.6%
インベストメント・バンク	10.2%	5.7%
パークレイズ・コア(本社を除く)	12.3%	10.5%
本社の影響 ¹	(1.2%)	0.5%
パークレイズ・コア	11.1%	11.0%
パークレイズ・ノンコアの影響 ¹	(3.4%)	(4.5%)
調整後パークレイズ・グループ合計	7.7%	6.5%

	2015年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
親会社の普通株主に帰属する利益/(損失)		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,114	1,044
パークレイカード	570	540
アフリカ・バンキング	208	181
インベストメント・バンク	774	441
本社	(83)	31
パークレイズ・コア	2,583	2,237
パークレイズ・ノンコア	(396)	(458)
調整後パークレイズ・グループ合計	2,187	1,779

¹ 本社およびパークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、それぞれパークレイズ・コア部門と当グループへの影響を示しています。本社またはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

業績管理

	2015年6月30日に 終了した半期 (億ポンド)	2014年6月30日に 終了した半期 (億ポンド)
平均割当有形株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	136	130
パークレイカード	50	46
アフリカ・バンキング	30	27
インベストメント・バンク	142	147
本社 ¹	27	(19)
パークレイズ・コア	385	331
パークレイズ・ノンコア	97	142
調整後パークレイズ・グループ合計	482	473

	2015年6月30日に 終了した半期 (億ポンド)	2014年6月30日に 終了した半期 (億ポンド)
平均割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	181	173
パークレイカード	63	57
アフリカ・バンキング	40	38
インベストメント・バンク	151	154
本社 ¹	32	(16)
パークレイズ・コア	467	406
パークレイズ・ノンコア	98	145
調整後パークレイズ・グループ合計	565	551

	2015年6月30日 (億ポンド)	2014年12月31日 (億ポンド)
期末割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	179	179
パークレイカード	63	62
アフリカ・バンキング	39	40
インベストメント・バンク	137	147
本社 ¹	52	21
パークレイズ・コア	470	449
パークレイズ・ノンコア	83	110
調整後パークレイズ・グループ合計	553	559

¹ 本社とその他の事業のリスク調整後資産と資本控除ならびに平均普通株主資本と有形普通株主資本の残余残高に基づきます。

利ざやおよび残高

	2015年6月30日に終了した半期			2014年6月30日に終了した半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	3,203	214,906	3.01	3,057	208,160	2.96
パークレイカード	1,704	37,967	9.05	1,500	33,410	9.05
アフリカ・バンキング	1,068	36,096	5.97	1,007	34,574	5.87
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキ ング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキ ング合計	5,975	288,969	4.17	5,564	276,144	4.06
インベストメント・バンク	276			334		
本社	(178)			1		
コア	6,073			5,899		
パークレイズ・ノンコア	128			183		
利息収入純額合計	6,201			6,082		

- パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの利息収入純額合計は以下の要因を反映し、7%増加して59億7,500万ポンドとなりました。
 - パーソナル・アンド・コーポレート・バンキングのモーゲージ事業、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングが伸びたことで平均顧客資産は2,890億ポンド(2014年:2,761億ポンド)に増加しました。
 - 純利ざやは11ベース・ポイント上昇して4.17%となりました。既存顧客の金利変更とコーポレートの債務利ざやの低下を背景にモーゲージ利ざやが影響を受け一部相殺されたものの、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキングの預金利ざやの上昇を主に反映しています。構造的ヘッジの正味寄与7億ポンド(2014年:8億ポンド)を含むグループの利息収入純額は62億ポンド(2014年:61億ポンド)に増加しました。
- 事業部門別の純利ざやは、当グループがホールセール市場から代替資金調達を行う際の費用をベースとしたグループ全体の内部調達レートの変動を反映しています。内部調達レートは純額ベースで余剰流動性を有している事業部門に適切にクレジットを与え、代替資金調達が必要な事業部門に実勢市場金利に期間プレミアムを含めたレートでチャージするため、グループ内の資金調達や流動性に価格を設定します。

PCB、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの四半期分析

	2015年6月30日に終了した四半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,602	215,069	2.99
パークレイカード	883	38,025	9.31
アフリカ・バンキング	521	35,610	5.87
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・ バンキングの合計	3,006	288,704	4.18
2015年3月31日に終了した四半期			
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,601	214,645	3.02
パークレイカード	821	37,909	8.78
アフリカ・バンキング ¹	547	36,603	6.06
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・ バンキングの合計	2,969	289,157	4.18
2014年12月31日に終了した四半期			
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,619	212,444	3.02
パークレイカード	757	36,932	8.13
アフリカ・バンキング	546	36,465	5.94
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・ バンキングの合計	2,922	285,841	4.06
2014年9月30日に終了した四半期			
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,622	210,859	3.05
パークレイカード	787	35,308	8.84
アフリカ・バンキング	540	35,026	6.12
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・ バンキングの合計	2,949	281,193	4.16

¹ 財務書類勘定科目の収益分類を正確に反映するため、2015年度第1四半期の利息収入純額は1,400万ポンド修正されています。

リスク管理およびプリンシパル・リスク

バークレイズのリスク管理に対する責任はエンタープライズ・リスク・マネジメント・フレームワーク(ERMF)において説明されています。ERMF は当グループの最も重大なリスク・エクスポージャーが合意されたリスク選好度に従って理解・管理され、リスク・エクスポージャーと内部統制の運用状況の有効性の両方が定期的に報告されることを目的として責任の所在と説明責任を明確化しています。ERMF には銀行全体を対象とした明確な内部統制の枠組みの構築に十分に値する、バークレイズに発生する予測可能で継続的かつ重大なリスクが含まれています。これらは重要リスクと位置付けられ、信用リスク、市場リスク、資金調達リスク、オペレーショナル・リスク、コンダクト・リスクの 5 つのプリンシパル・リスクに分類されています。

これらのリスクの詳細ならびに管理手法については 2014 年度年次報告書、またはウェブサイト www.barclays.com/investorrelations をご覧ください。2015 年度について、レピュテーション・リスクはコンダクト・リスクの中の重要リスクと位置付けられています。これはレピュテーション・リスクがコンダクト・リスクと密接な関連性を持ち、別々のプリンシパル・リスクとして、共通のプリンシパル・リスク・オフィサーの下で管理されているためです。当期間において、重要リスク、リスク管理または主要な不確実性に関するその他の重大な変更はなく、2015 年度の残りの 6 ヶ月間においても同様と予想されています。

先頃のギリシャ救済の合意を受けてユーロ圏に対するリスクは若干後退しましたが、合意に問題が生じれば、ギリシャによるデフォルトやそれに続くユーロ圏離脱の可能性が再浮上し、資本市場や現地市場が混乱する結果、イタリアやポルトガルなど、比較的大規模な資産および資金調達ポジションを有する地域におけるバークレイズのパフォーマンスにマイナス影響が及ぶ可能性があります。

以下のセクションは、当期間における資金調達リスクー流動性、資金調達リスクー資本、信用リスクおよび市場リスクの動向の概要です。

資金調達および流動性

当グループは流動性リスクを管理するための包括的なフレームワークを備えていますが、バークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別個に管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報は BAGL を除外しており、BAGL については独立項目として報告がなされています。現地での要件に関する調整を行った上で、BAGL の流動性リスクはバークレイズ・グループと一貫したベースで管理されています。

流動性ストレス・テスト

内部基準および規制に則ったストレス・テストの遵守

	バークレイズの流動性リスク選好度(LRA)(30日間のバークレイズの固有シナリオの必要額) ¹ (億ポンド)	CRDIV 基準の流動性カバレッジ比率(LCR)の見積もり (億ポンド)
適格流動性バッファ	1,450	1,500
ストレス時の資金流出純額	1,220	1,240
余剰流動性	230	260
2015年6月30日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	119%	121%
2014年12月31日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	124%	124%

バークレイズは、内部で設定した流動性リスク選好度(LRA)、プルーデンス(健全性)規制機構(PRA)が提示した個別流動性ガイダンス(ILG)などの規制基準、および CRD IV の流動性カバレッジ比率(LCR)に対する当グループの流動性ポジションを管理しています。2015年6月30日現在、当グループは30日間のバークレイズの固有シナリオの LRA と LCR の両方について、ストレス時の資金流出純額の 100%を大幅に上回る適格流動性資産を保有しています。この余剰流動性はソブリンによる裏付けの評価見直しを理由とした信用格付けの変更に伴う資金流出に対応するための当グループのポジション構築によるものです。2015 年度第 2 四半期に格付けが変更されましたが、予想されていた資金調達への影響は 2015 年上半期末までに現実のものとなっていません。

バークレイズは 2014 年 10 月にバーゼル銀行監督委員会が公表した安定調達比率(NSFR)に関する最終的な指針に基づいて、NSFR を 106%(2014 年:102%)と推定しました。

¹ LRA の一環としてモニターされている 3 つのストレス・シナリオのうち、30 日間のバークレイズ固有シナリオの下での比率は最も低い 119%となります(2014 年:124%)。これに対し 90 日間の市場全体シナリオの下での比率は 149%(2014 年:135%)、30 日間の複合シナリオの下での比率は 121%(2014 年:127%)となります。

資金調達リスク－流動性

グループ余剰流動性の構成

	余剰流動性 2015年 6月30日現在	余剰流動性 のうち PRA 適格分 ¹	余剰流動性のうち CRDIV 基準の LCR 適格分 ²		余剰流動性 2014年 12月31日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)	レベル 1 (億ポンド)	レベル 2A (億ポンド)	(億ポンド)
2015年6月30日現在					
現金および中央銀行預け金 ³	310	280	280	10	370
国債⁴					
格付 AAA	740	730	730	-	730
格付 AA+から AA-	90	80	90	-	120
その他の国債	30	20	-	20	-
国債合計	860	830	820	20	850
その他					
国際機関債および国際開発銀行	70	30	70	-	90
政府機関および政府機関モーゲージ・バック証券	150	-	90	60	110
カバード・ボンド(格付 AA-以上)	30	-	30	-	30
その他	30	-	-	-	40
その他合計	280	30	190	60	270
2015年6月30日現在合計	1,450	1,140	1,290	90	
2014年12月31日現在合計	1,490	1,220	1,360	70	

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。余剰流動性は担保権が設定されておらず、支払や決済の必要額に対する裏付けとして使用されるものではありません。2015年6月30日現在、余剰流動性の93%(2014年:92%)はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク(BCI)内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は、主として各事業体固有のストレス時の資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

預金による調達

顧客向け貸付金の調達(BAGLを含む)	2015年6月30日現在			2014年 12月31日現在
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 %	預貸率 %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	2,170	2,980		
パークレイカード	370	80		
アフリカ・バンキング	340	340		
ノン・コア(リテール)	180	70		
リテールの資金調達合計	3,060	3,470	88	89
インベストメント・バンク、ノン・コア(ホールセール)および 本社	370	140		
トレーディング決済残高および担保	880	770		
合計	4,310	4,380	98	100

PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア部門のリテール事業は概ね顧客預り金によって資金調達しています。これらの事業の預貸率は88%(2014年:89%)でした。貸付金を上回る顧客預り金は、主にこれらの事業の流動性バッファーとして利用されています。インベストメント・バンク部門はホールセール負債から調達しており、これらの事業の顧客預り金からの調達に依存していません。グループ全体の預貸率は98%(2014年:100%)でした。

1 余剰流動性 1,140 億ポンド(2014年:1,220 億ポンド)は、BIPRU(銀行、ビルディング・ソサエティ、投資会社のためのブルデンシャル・ハンドブック)12.7 項に規定されている PRA(ブルーデンス(健全性)規制機構)要件を満たすものです。更に PRA の 2013 年 8 月の発表によれば、PRA がレベル 2 資産として特定した一部の資産は、経過措置として利用することができ、このようなレベル 2 資産を 120 億ポンド(2014年:120 億ポンド)保有しています。

2 本表に表示されている流動性カバレッジ比率(LCR)適格資産は当グループの余剰流動性に適格な資産のみを示しており、CRD IV 委任法令に定義されるレベル 2B 資産は含まれていません。

3 現金および中央銀行預け金のうち 95%超(2014年:95%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

4 国債のうち 90%超(2014年:95%超)は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイスおよびオランダの債券です。

資金調達リスク – 流動性

ホールセール調達

2015年6月30日現在のその他資産の資金調達

資産	(億ポンド)	負債	(億ポンド)
トレーディング・ポートフォリオ資産	330	レポ取引	850
リバース・レポ取引	520		
リバース・レポ取引	410	トレーディング・ポートフォリオ負債	410
デリバティブ	3,400	デリバティブ	3,420
余剰流動性 ¹	1,050	1年未満で満期が到来するホールセール負債	680
その他無担保資産 ²	1,150	1年以上で満期が到来するホールセール負債および資本	1,500

- トレーディング・ポートフォリオ資産は大部分がレポ取引によって資金調達されており、57%(2014年:54%)は非常に流動性の高い資産によって担保されています³。比較的流動性の低い資産によって担保されているレポ取引の加重平均満期は77日(2014年:56日)でした。
- リバース・レポ取引の大半はレポ取引と見合っています。2015年6月30日現在、見合っている取引のうち55%(2014年:66%)が非常に流動性の高い資産によって担保されています³。残りのリバース・レポ取引はトレーディング・ポートフォリオ負債の決済のために利用されています。
- デリバティブ資産と負債はほぼ見合っています。貸借対照表上のデリバティブ・ポジションの大部分はカウンター・ネットリング要件を満たしており、残りのポジションは現金担保の受入と支払をネットリングされた後にほぼ相殺されます。
- 当グループの余剰流動性は主にホールセール負債によって資金調達されており、残りは顧客預り金によって調達されています。その他の資産は概ねターム・ホールセール負債およびと資本と見合っています。

¹ 余剰流動性のうち、ホールセール資金によって調達されていると見積もられている部分です。

² ほとんどが売却可能投資、トレーディング・ポートフォリオ資産、公正価値で測定する金融資産および金融機関向け貸付金です。

³ 流動性の高い資産は、国債、米国政府機関債、米国政府機関モーゲージ・バック証券に限定されています。

資金調達リスク－流動性

ホールセール調達の構成¹

シングル・ポイント・オブ・エントリー(SPOE)破綻処理モデルに備えて、当グループは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーによる負債性資本の発行およびターム優先無担保資金調達を開始しました。当グループはパークレイズ・ピーエルシーによる大半の負債性資本およびターム優先無担保資金調達は徐々に借り換えていきます。

期間別ホールセール調達

	1ヶ月未満 (億ポンド)	1ヶ月以上 3ヶ月未満 (億ポンド)	3ヶ月以上 6ヶ月未満 (億ポンド)	6ヶ月以上 9ヶ月未満 (億ポンド)	9ヶ月以上 1年未満 (億ポンド)	1年未満 小計 (億ポンド)	1年以上 2年未満 (億ポンド)	2年以上 5年未満 (億ポンド)	5年以上 (億ポンド)	合計 (億ポンド)
パークレイズ・ピーエルシー										
無担保シニア債(公募)	-	-	-	-	-	-	-	25	20	45
劣後負債	-	-	-	-	-	-	-	8	-	8
パークレイズ・バンク・ピーエルシー										
銀行からの預り金	114	63	12	7	5	201	5	-	4	210
譲渡性預金証書および コマースシャル・ペーパー	11	62	63	42	23	201	8	18	7	234
資産担保コマースシャル・ペーパー	32	19	6	-	-	57	-	-	-	57
優先無担保債(公募)	-	10	-	13	-	23	48	54	36	161
優先無担保債(私募) ²	18	17	20	21	27	103	69	114	105	391
転換社債/資産担保証券	-	11	2	9	11	33	41	62	40	176
劣後負債	-	-	-	-	-	-	-	30	153	183
その他 ³	29	9	11	10	2	61	17	11	16	105
2015年6月30日現在合計	204	191	114	102	68	679	188	322	381	1,570
担保付	47	38	15	14	13	127	44	63	41	275
無担保	157	153	99	88	55	552	144	259	340	1,295
2014年12月31日現在合計	168	232	144	135	75	754	140	366	454	1,714
担保付	53	78	17	19	3	170	27	76	60	333
無担保	115	154	127	116	72	584	113	290	394	1,381

ホールセールの資金調達残高には 390 億ポンド(2014年:450 億ポンド)の私募優先無担保債が含まれています。これらの債券は仲介業者およびプライベート・バンクを含む各種販路を通じて発行されています。必要条件ではありませんが、余剰流動性は1年未満に満期を迎えるホールセール資金調達を770 億ポンド(2014年:740 億ポンド)上回りました。

余剰流動性を控除後のホールセールの資金調達純額の平均満期は少なくとも120ヶ月(2014年:105ヶ月)でした。

ターム資金調達

当グループは2015年度上半期の期限前償還を控除後の純額で60億ポンドのターム資金調達を実施しました。パークレイズでは2015年度の残りの期間に90億ポンド、2016年度中に130億ポンドのターム資金調達が満期を迎えます⁴。

当グループは種類、通貨、販路の多様性を備えた安定した資金調達基盤を維持するため、2015年度の残りの期間において公募ホールセール債券を更に発行する予定です。

¹ ホールセール資金調達の構成は銀行預り金、公正価値で測定された金融負債、発行債券および劣後負債(現金担保と決済残高を除く)で成っており、イングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を含む担保スワップは含まれていません。

² ストラクチャード・ノート330億ポンドを含み、うち90億ポンドは1年以内に満期を迎えます。

³ 主として公正価値で測定した預り金50億ポンドおよび現物金担保付資金調達40億ポンドから成っています。

⁴ 2015年のバイラテラル担保付資金調達10億ポンド、2016年の10億ポンドを含みます。

資金調達リスク – 流動性

信用格付け

パークレイズ・バンク・ピーエルシー	スタンダード & プアーズ	ムーディーズ	フィッチ
長期(アウトルック)	A- (Stable)	A2 (Stable)	A (Stable)
短期	A-2	P-1	F1
スタンダードアローン格付け ¹	bbb+	baa2	a

パークレイズ・ピーエルシー	スタンダード & プアーズ	ムーディーズ	フィッチ
長期(アウトルック)	BBB (Stable)	Baa3 (Stable)	A (Stable)
短期	A-2	P-3	F1

2015年度第2四半期に格付会社3社はいずれもソブリンによる裏付けの評価および/または手法のアップデートを理由に銀行業界全体の格付けに関して対応を行いました。S&Pはパークレイズ・バンク・ピーエルシーの長期および短期シニア無担保格付けをA/A-1から1段階引き下げてA-/A-2としました。これは2段階のソブリンによる裏付けの撤廃が理由で、「追加的な損失吸収力」を反映した1段階の引き上げにより一部相殺されています。ムーディーズはパークレイズ・ピーエルシーの長期および短期シニア無担保格付けをA3/P-2からBaa3/P-3に引き下げました。これは3段階のソブリンによる裏付けの撤廃が理由で、手法の変更によるノッチの引き上げはありません。フィッチはパークレイズ・ピーエルシーならびにパークレイズ・バンク・ピーエルシーのシニア無担保格付けをともにA/F1に据え置きました。パークレイズのスタンダードアローン信用格付けはこれらのアクションによる影響を受けていません。現在の信用格付け見直しはいずれも「安定的」です。

パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド

- パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨、資金調達および規制上の要件のために別個に管理されています。
- 当グループの余剰流動性に加え、BAGLはBAGL固有のストレス時の想定資金流出額に対し70億ポンド(2014年:70億ポンド)の余剰流動性を有しています。余剰流動性は南アフリカ国債および短期国債で構成されています。
- BAGLの預貸率は100%(2014年:102%)でした。
- 2015年6月30日現在のBAGLのホールセール資金調達残高は100億ポンド(2014年:90億ポンド)で、このうち50億ポンドが1年未満に満期を迎えます(2014年:50億ポンド)。

¹ スタンダード・アンド・プアーズのスタンダードアローン・クレジット・プロフィール(SACP)、ムーディーズのベースライン・クレジット・アセスメント(BCA)およびフィッチのグアイアビリティ・レーティング(VR)をご参照ください。

資金調達リスク – 資本

CRD IV 資本

欧州連合 (EU) は 2014 年 1 月 1 日、自己資本規制および資本要件指令 (CRD IV と総称されます) の下でバーゼル 3 の実施を開始しました。これらの規制は経過措置ルールの実施を含む、規制上の実務基準およびプルーフデンス (健全性) 規制機構 (PRA) の規則集により補完されます。しかしながら、CRD IV の一部の要素は欧州銀行監督機構 (EBA) が公表し、欧州委員会および PRA が採用する予定の最終的な実務上の基準と明確化によって左右されるため、ルールおよびガイダンスは依然変更される可能性があります。自己資本、リスク調整後資産およびレバレッジの算出はすべてパークレイズによる現行ルールの解釈を反映したものです。

資本比率	2015 年 6 月 30 日現在	2015 年 3 月 31 日現在	2014 年 12 月 31 日現在
CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1)	11.1%	10.6%	10.3%
PRA 経過措置ルールに基づく普通株式 Tier 1 ^{1,2}	11.1%	10.6%	10.2%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 ^{3,4}	14.0%	13.3%	13.0%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計 ^{3,4}	17.4%	16.8%	16.5%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の資本合計 (非支配持分を除く)	59,281	60,693	59,567
(控除) その他の持分商品 (AT1 資本として認識)	(4,325)	(4,323)	(4,322)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(731)	(981)	(615)
少数株主持分 (連結 CET 1 として認められる金額)	1,200	1,249	1,227
その他規制上の調整および控除:			
追加的評価調整 (PVA)	(1,506)	(1,984)	(2,199)
のれんおよび無形資産	(8,145)	(8,255)	(8,127)
一時的な差異を除く将来の収益力による繰延税金資産	(1,132)	(1,180)	(1,080)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(1,185)	(2,029)	(1,814)
減損を上回る予想損失額	(1,536)	(1,727)	(1,772)
当グループ自体の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	127	497	658
当グループが発行した CET 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(57)	(56)	(25)
その他規制上の調整	1	(72)	(45)
完全施行ベース CET 1 資本	41,992	41,833	41,453
未実現利益に係る規制上の調整 ¹	-	-	(583)
PRA 経過措置ルールに基づく CET 1 資本	41,992	41,833	40,870
追加的 Tier 1 (AT1) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	4,325	4,323	4,322
子会社が発行した AT1 資本 (少数株主持分を含む)	6,666	6,815	6,870
その他規制上の調整および控除	(130)	(130)	-
暫定追加的 Tier 1 資本	10,861	11,008	11,192
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 資本	52,853	52,841	52,062
Tier 2 (T2) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	792	840	800
子会社が発行した適格 T2 資本 (少数株主持分を含む)	12,268	13,126	13,529
その他規制上の調整および控除	(254)	(254)	(48)
PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計	65,659	66,553	66,343
リスク調整後資産	376,683	395,899	401,900

1 2015 年 1 月 1 日以降は経過措置ルールに基づく未実現利益に係る規制上の調整が適用されないため、完全施行ベースの CET 1 資本は経過措置ルールに基づくものと同じです。

2 479 億ポンドの移行ベース CRD IV CET 1 資本と 3,767 億ポンドのリスク調整後資産に基づく、パークレイズの Tier 2 コンテンジエンシー・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET 1 比率 (FSA による 2012 年 10 月の移行に関する発表文) は 12.7% でした。

3 PRA 経過措置ルールに基づく自己資本は 2013 年 12 月に公表された自己資本規制強化に関する方針「PS7/13」に定められた指針に基づいています。

4 2015 年 6 月 30 日現在、パークレイズの完全施行ベースの Tier 1 自己資本は 464 億 6,800 万ポンド、完全施行ベースの Tier 1 自己資本比率は 12.3% でした。完全施行ベースの規制上の自己資本総額は 609 億 1,300 万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は 16.2% でした。完全施行ベースの Tier 1 自己資本および自己資本総額の数値は、CRD IV が定めた経過規定を適用せず、また、CRD IV の関連基準に対する AT1 および T2 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。

資金調達リスク – 資本

普通株式 Tier 1 (CET1) 資本の変動	2015年6月30日に2015年6月30日に	
	終了した3ヶ月	終了した6ヶ月
	(百万ポンド)	(百万ポンド)
CET 1 資本の期首残高	41,833	41,453
当期純利益	1,225	1,770
当グループ自身の信用度に係る変動	(370)	(531)
配当金の変動	(559)	(989)
利益から生じた規制上の留保資本	296	250
剰余金の変動-株式制度の正味影響額	293	313
売却可能投資再評価差額の変動	(240)	(295)
為替換算再評価差額の変動	(1,276)	(463)
退職給付の再測定	220	(94)
その他の剰余金の変動	16	(18)
その他の適格剰余金の変動	(987)	(557)
少数株主持分	(49)	(27)
追加的評価調整(PVA)	478	693
のれんおよび無形資産	110	(18)
一時的な差異を除く将来の収益力による繰延税金資産	48	(52)
予想損失の減損超過額	191	236
当グループが発行した CET 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(1)	(32)
その他規制上の調整	73	46
規制上の調整およびその他控除項目の増減	850	846
CET 1 資本の期末残高	41,992	41,992

- 完全施行ベースの CRD IV の CET 1 比率は、CET 1 自己資本が 5 億ポンド増加して 420 億ポンドになったことと、リスク調整後資産が 252 億ポンド減少して 3,770 億ポンドになったことを反映して、2015 年度上半期に 11.1%(2014 年 12 月: 10.3%) に上昇しました。
- 調整項目、当グループ自身の信用度に関連する利益の変動、配当金支払額および予定配当金を吸収すると、利益から生じた自己資本によって、CET 1 自己資本は 3 億ポンド増加しました。CET 1 資本のその他の重要な変動は以下の通りです。
 - その他の適格剰余金は 6 億ポンド減少しました。これは英ポンドがユーロ、米ドル、南アフリカランドに対して上昇したことに伴う為替換算再評価差額の 5 億ポンドの減少が主因です。
 - 規制上の調整および控除の減少により 8 億ポンド増加しました。追加的評価調整(PVA)の控除が 7 億ポンド減少したことが主因であり、これには第 2 四半期に適用された 4 億ポンドの税額控除の減少とノンコア全体での 3 億ポンドの控除の減少が含まれています。
- 経過措置ルールに基づく自己資本総額は、7 億ポンド減少して 657 億ポンドとなりました。これは 2 億 2,500 万ドルの固定金利の劣後債および 2 億 6,500 万ポンドの固定金利の保証付永久劣後債(T2 自己資本)の当期における資本償還が主因で、当グループ自身の債券および不適格少数株主持分の保有に係る資本控除の増加も一因でした。

資金調達リスク－資本

リスク別および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク		カウンターパーティー信用リスク		市場リスク		オペレーショナルリスク	リスク調整後資産合計
	標準手法	内部格付手法	標準手法	内部格付手法	標準手法	内部モデル		
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
2015年6月30日現在								
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	31,687	71,481	268	859	108	-	16,176	120,579
パークレイカード	16,149	18,624	-	-	-	-	5,505	40,278
アフリカ・バンキング	8,003	20,749	18	416	306	1,266	5,604	36,362
インベストメント・バンク	4,501	36,117	15,263	11,412	12,656	15,718	19,621	115,288
本社	487	3,071	102	87	1	1,695	2,104	7,547
コア合計	60,827	150,042	15,651	12,774	13,071	18,679	49,010	320,054
パークレイズ・ノンコア	7,300	13,761	2,532	13,267	1,226	10,893	7,650	56,629
リスク調整後資産合計	68,127	163,803	18,183	26,041	14,297	29,572	56,660	376,683
2014年12月31日現在								
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	32,657	70,080	238	1,049	26	-	16,176	120,226
パークレイカード	15,910	18,492	-	-	-	-	5,505	39,907
アフリカ・バンキング	9,015	21,794	10	562	948	588	5,604	38,521
インベストメント・バンク	5,773	36,829	13,739	11,781	18,179	16,480	19,621	122,402
本社	506	2,912	234	62	7	521	1,326	5,568
コア合計	63,861	150,107	14,221	13,454	19,160	17,589	48,232	326,624
パークレイズ・ノンコア	10,679	19,416	3,023	18,406	2,236	13,088	8,428	75,276
リスク調整後資産合計	74,540	169,523	17,244	31,860	21,396	30,677	56,660	401,900

リスク調整後資産変動の内訳

	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティー信用リスク ¹ (億ポンド)	市場リスク ² (億ポンド)	オペレーショナルリスク (億ポンド)	合計 (億ポンド)
リスク調整後資産					
2015年1月1日現在	2,440	491	521	567	4,019
簿価残高	30	(61)	(44)	-	(75)
取得および処分	(96)	-	(3)	-	(99)
簿価の質	(17)	(7)	7	-	(17)
モデルの更新	(17)	(13)	(23)	-	(53)
手法と方針の変更	19	32	(19)	-	32
外国為替 ³	(41)	-	-	-	(41)
その他	1	-	-	-	1
2015年6月30日現在	2,319	442	439	567	3,767

リスク調整後資産は252億ポンド減少して3,767億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- 簿価残高の変動によりリスク調整後資産は75億ポンド減少。主因はインベストメント・バンクおよびノンコア部門内のトレーディング・ブックのリスク削減で、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)部門の顧客に対する貸付金の増加により部分的に相殺。
- 取得および処分によりリスク調整後資産は99億ポンド減少。主因はスペイン事業売却を含むノンコア部門の売却。
- 簿価の質の改善によりリスク調整後資産は17億ポンド減少。主因はPCB部門およびノンコア部門内のリスク特性の変動。
- モデルの更新によりリスク調整後資産は53億ポンド減少。主因は先進的な一般および特定の市場リスクにわたる多様化によるメリットの実行およびインベストメント・バンクおよびノンコア部門内の信用リスク・モデルの再調整。
- 手法と方針の変更によりリスク調整後資産は32億ポンド増加。主因はインベストメント・バンク部門内の証券金融取引のリスクのマージン期間延長の獲得。
- 外国為替の変動によりリスク調整後資産は41億ポンド減少。主因は南アランド、米ドル、ユーロに対する英ポンドの上昇。

1 デフォルト・ファンド拠出金に係るリスク調整後資産はカウンターパーティー信用リスクに含まれています。

2 CVAに係るリスク調整後資産(133億ポンド)は市場リスクに含まれています。

3 外国為替の変動はカウンターパーティー信用リスクあるいは市場リスクの変動を含みません。

資金調達リスク－資本

レバレッジ比率要件

バーゼル委員会は 2014 年 1 月にバーゼル 3 レバレッジ比率算出の改訂基準(BCBS 270)を最終決定しました。欧州委員会は 2015 年 1 月に発効した委任法令によりこの改訂を自己資本規制(CRR)に取り入れ実施しています。以下のレバレッジ比率は、欧州連合の委任法令により採用された CRR の定義による期末 Tier 1 自己資本を分子に使用し、また CRR の定義によるレバレッジ・エクスポージャーを使用して算出されています。

パークレイズはこれまでに開示した BCBS 270 レバレッジ・エクスポージャーと委任法令に従って算出されるレバレッジ・エクスポージャーの間に重要な相違があるとは考えていません。

2015 年 6 月 30 日現在のパークレイズのレバレッジ比率は 4.1%でした。これは金融監督委員会(FPC)¹がその概略を示した完全施行ベースの予想最低要件 3.7%を上回る水準で、その内訳は最低要件 3%、およびグローバルにシステム上重要な金融機関(G-SII)に対する完全施行ベースの資本バッファです。

レバレッジ・エクスポージャーと比率

レバレッジ・エクスポージャー	2015 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	2015 年 3 月 31 日現在 (億ポンド)	2014 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)
会計上の資産			
デリバティブ	3,410	4,800	4,400
現金担保	600	800	730
リバース・レポ取引	930	1,240	1,320
貸付金およびその他の資産	7,030	7,320	7,130
IFRS 資産合計	11,970	14,160	13,580
規制上の連結調整	(50)	(80)	(80)
デリバティブに係る調整			
デリバティブのネットティング	(3,080)	(4,360)	(3,950)
現金担保に係る調整	(470)	(630)	(530)
クレジット・プロテクション売却純額	200	250	270
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー	1,600	1,760	1,790
デリバティブに係る調整合計	(1,750)	(2,980)	(2,420)
証券金融取引(SFT)に係る調整	240	460	250
規制に係る控除およびその他の調整	(140)	(150)	(150)
オフ・バランスシートのコミットメントの加重	1,120	1,140	1,150
完全施行ベースのレバレッジ・エクスポージャー合計	11,390	12,550	12,330
完全施行ベース CET 1 資本	420	418	415
完全施行ベース追加的 Tier 1(AT1)資本	45	45	46
完全施行ベース Tier 1 資本	465	463	460
完全施行ベースのレバレッジ比率	4.1%	3.7%	3.7%

レバレッジ・エクスポージャーは 2015 年度上半期中に 940 億ポンド減少して 1 兆 1,390 億ポンドとなりました。

- 証券金融取引(SFT)は 400 億ポンド減少しました。バランスシートのレバレッジの結果マッチド・ブック・トレーディングが減少し、IFRS リバース・レポ取引が 390 億ポンド減少して 930 億ポンドとなったことが主因です。
- デリバティブ・エクスポージャー合計²は 450 億ポンド減少しました。主因は潜在的将来エクスポージャー(PFE)の減少 190 億ポンドおよび IFRS デリバティブおよび現金担保の 190 億ポンド純減でした。
 - デリバティブの PFE は 190 億ポンド減少して 1,600 億ポンドとなりました。主因は取引の圧縮と解約を含む旧来のポートフォリオの継続的縮小および最適化です。
 - その他のデリバティブ・エクスポージャーは 190 億ポンド減少して 460 億ポンドとなりました。主要フォワード・レート・カーブの上方シフトと旧来のポートフォリオの継続的縮小を主因に、IFRS デリバティブが純減したためです。
 - クレジット・プロテクション売却純額が 70 億ポンド減少して 200 億ポンドとなりました。主因は事業活動の縮小およびポートフォリオ・ネットティングの改善です。
- 貸付金およびその他の資産は 10 億ポンド減少し 7,030 億ポンドとなりました。主因はトレーディング・ポートフォリオ資産の減少です。

¹ ブルードンズ(健全性)規制機構(PRA)は 2015 年 7 月、英国内における FPC 勧告の実施方法について協議を開始しました。PRA は 2015 年末までに政策声明、最終規則および監督声明を発表すると予想されています。

² デリバティブ・エクスポージャー合計には IFRS デリバティブ、現金担保およびデリバティブ調整合計が含まれます。

信用リスク

顧客および銀行に対する貸付金の分析

産業セクターおよび地域別貸付金(償却原価ベース、減損引当金控除後)

2015年6月30日現在	英国	欧州	米州	アフリカ および中東	アジア	合計
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
銀行	7,092	12,377	14,510	2,617	4,374	40,970
その他金融機関	24,091	20,546	52,379	2,873	5,910	105,799
住宅ローン	133,491	17,476	695	12,450	229	164,341
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	27,863	4,691	15,628	8,561	1,413	58,156
建設および不動産	18,207	1,035	1,612	1,909	326	23,089
その他	41,403	13,266	11,228	12,052	4,963	82,912
顧客および銀行に対する貸付金純額	252,147	69,391	96,052	40,462	17,215	475,267
減損引当金	2,484	1,091	581	957	80	5,193
顧客および銀行に対する貸付金総額	254,631	70,482	96,633	41,419	17,295	480,460
貸付金(公正価値で測定)	16,472	405	666	1,002	1	18,546
2014年12月31日現在						
銀行	6,900	12,611	12,917	2,499	5,338	40,265
その他金融機関	23,685	22,114	49,160	4,123	4,306	103,388
住宅ローン	132,775	19,713	769	13,356	361	166,974
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	28,061	5,226	15,666	8,605	1,356	58,914
建設および不動産	17,837	1,175	1,655	1,888	287	22,842
その他	39,757	11,972	9,621	12,020	4,125	77,495
顧客および銀行に対する貸付金純額	249,015	72,811	89,788	42,491	15,773	469,878
減損引当金	2,653	1,219	499	1,001	83	5,455
顧客および銀行に対する貸付金総額	251,668	74,030	90,287	43,492	15,856	475,333
貸付金(公正価値で測定)	17,627	1,041	894	635	1	20,198

信用リスク

リテール、ホールセール貸付金および減損の分析

2015年6月30日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損を除く) (百万ポンド)	クレジット・	貸付金総額	貸付金に係る 減損費用 ¹ (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ポイント
				リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	に占める CRLの比率 %		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	137,311	730	136,581	1,486	1.1	125	18
アフリカ・バンキング	20,414	649	19,765	1,029	5.0	154	152
パークレイカード	38,689	1,759	36,930	1,735	4.5	563	293
パークレイズ・コア	196,414	3,138	193,276	4,250	2.2	842	86
パークレイズ・ノンコア	17,625	420	17,205	1,077	6.1	51	58
グループ・リテール合計	214,039	3,558	210,481	5,327	2.5	893	84
インベストメント・バンク	123,094	31	123,063	56	-	(6)	(1)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	86,395	835	85,560	1,846	2.1	54	13
アフリカ・バンキング	16,548	243	16,305	642	3.9	39	48
本社およびその他事業	3,169	-	3,169	4	0.1	1	6
パークレイズ・コア	229,206	1,109	228,097	2,548	1.1	88	8
パークレイズ・ノンコア	37,215	526	36,689	754	2.0	(24)	(13)
グループ・ホールセール合計	266,421	1,635	264,786	3,302	1.2	64	5
グループ合計	480,460	5,193	475,267	8,629	1.8	957	40
流動性のある貸付金	2,048	n/a	2,048				
公正価値で測定すると指定された貸付金	18,546	n/a	18,546				
貸付金(公正価値で保有)	20,594	n/a	20,594				
貸付金合計	501,054	5,193	495,861				
2014年12月31日現在							
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ²	136,544	766	135,778	1,582	1.2	215	16
アフリカ・バンキング	21,334	681	20,653	1,093	5.1	295	138
パークレイカード	38,376	1,815	36,561	1,765	4.6	1,183	308
パークレイズ・コア	196,254	3,262	192,992	4,440	2.3	1,693	86
パークレイズ・ノンコア	20,259	428	19,831	1,209	6.0	151	75
グループ・リテール合計	216,513	3,690	212,823	5,649	2.6	1,844	85
インベストメント・バンク	106,377	44	106,333	71	0.1	(14)	(1)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ²	88,192	873	87,319	2,112	2.4	267	30
アフリカ・バンキング	16,312	246	16,066	665	4.1	54	33
本社およびその他事業	3,240	-	3,240	-	-	-	-
パークレイズ・コア	214,121	1,163	212,958	2,848	1.3	307	14
パークレイズ・ノンコア	44,699	602	44,097	841	1.9	53	12
グループ・ホールセール合計	258,820	1,765	257,055	3,689	1.4	360	14
グループ合計	475,333	5,455	469,878	9,338	2.0	2,204	46
流動性のある貸付金	2,693	n/a	2,693				
公正価値で測定すると指定された貸付金	20,198	n/a	20,198				
貸付金(公正価値で保有)	22,891	n/a	22,891				
貸付金合計	498,224	5,455	492,769				

- 銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース、減損控除後)は、4,753億ポンド(2014年:4,699億ポンド)に増加しました。
 - インベストメント・バンク部門の貸付金は、主として取引量の増加に伴う現金担保と決済残高の純増を反映し、167億ポンド増加して1,231億ポンドとなりました。
 - ノンコア部門の貸付金は、現金担保と決済の純減および欧州の資産流出により、100億ポンド減少して539億ポンドとなりました。

¹ 売却可能投資およびリバース・レポ取引に係る減損費用を除いています。2015年度上半期の減損費用は6ヶ月分、2014年12月度の減損費用は12ヶ月分を表しています。

² 英国ビジネス・バンキングは現在の事業管理方法に従ってリテールからホールセールに再分類されました。2014年度の数値はこれを反映して修正再表示されており、貸付金純額34億ポンド、クレジット・リスク・ローン4億8,200万ポンドおよび減損費用4,800万ポンドがホールセールに再分類されています。

信用リスク

潜在的クレジット・リスク・ローン(CRL)およびカバレッジ比率の分析

	CRLs		潜在的問題貸金		潜在的 CRLs	
	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	1,486	1,582	151	143	1,637	1,725
アフリカ・バンキング	1,029	1,093	170	161	1,199	1,254
パークレイカード	1,735	1,765	217	227	1,952	1,992
パークレイズ・コア	4,250	4,440	538	531	4,788	4,971
パークレイズ・ノンコア	1,077	1,209	24	26	1,101	1,234
グループ・リテール合計	5,327	5,649	562	557	5,889	6,205
インベストメント・バンク	56	71	270	107	326	178
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	1,846	2,112	498	614	2,344	2,726
アフリカ・バンキング	642	665	66	94	708	759
本社およびその他事業	4	-	-	-	4	-
パークレイズ・コア	2,548	2,848	834	815	3,382	3,663
パークレイズ・ノンコア	754	841	29	119	783	960
グループ・ホールセール合計	3,302	3,689	863	934	4,165	4,623
グループ合計	8,629	9,338	1,425	1,491	10,054	10,828

	減損引当金		CRL カバレッジ比率		潜在的 CRL カバレッジ比率	
	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2015年 6月30日 現在 (%)	2014年 12月31日 現在 (%)	2015年 6月30日 現在 (%)	2014年 12月31日 現在 (%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	730	766	49.1	48.4	44.6	44.4
アフリカ・バンキング	649	681	63.1	62.3	54.1	54.3
パークレイカード	1,759	1,815	101.4	102.8	90.1	91.1
パークレイズ・コア	3,138	3,262	73.8	73.5	65.5	65.6
パークレイズ・ノンコア	420	428	39.0	35.4	38.1	34.7
グループ・リテール合計	3,558	3,690	66.8	65.3	60.4	59.5
インベストメント・バンク	31	44	55.4	62.0	9.5	24.7
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	835	873	45.2	41.3	35.6	32.0
アフリカ・バンキング	243	246	37.9	37.0	34.3	32.4
本社およびその他事業	-	-	-	-	-	-
パークレイズ・コア	1,109	1,163	43.5	40.8	32.8	31.7
パークレイズ・ノンコア	526	602	69.8	71.6	67.2	62.7
グループ・ホールセール合計	1,635	1,765	49.5	47.8	39.3	38.2
グループ合計	5,193	5,455	60.2	58.4	51.7	50.4

- クレジット・リスク・ローン(CRL)は8%減少して86億ポンドになりました。ホールセール・ポートフォリオが10%減の33億ポンド、リテール・ポートフォリオが6%減の53億ポンドでした。主因は経済状況の改善を反映した PCB 部門および欧州ノンコア部門における減少です。

¹ 英国ビジネス・バンキングは現在の事業管理方法に従ってリテールからホールセールに再分類されました。2014年度の数値はこれを反映して修正再表示されており、クレジット・リスク・ローン4億8,200万ポンド、PPL3,200万ポンドおよび潜在的CRL5億1,400万ポンドがホールセールに再分類されています。

信用リスク

条件緩和プログラムの分析

	残高		減損引当金		引当率	
	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2015年 6月30日 現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2015年 6月30日 現在 %	2014年 12月31日 現在 %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	1,744	2,011	45	46	2.6	2.3
アフリカ・バンキング	268	299	36	45	13.4	15.1
パークレイカード	805	972	285	394	35.4	40.5
パークレイズ・コア	2,817	3,282	366	485	13.0	14.8
パークレイズ・ノンコア	365	419	40	49	11.0	11.7
リテール合計	3,182	3,701	406	534	12.8	14.4
インベストメント・バンク	174	106	13	10	7.5	9.4
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング ¹	1,841	1,830	291	255	15.8	13.9
アフリカ・バンキング	152	132	11	7	7.2	5.3
パークレイズ・コア	2,167	2,068	315	272	14.5	13.2
パークレイズ・ノンコア	265	651	104	271	39.2	41.6
ホールセール合計	2,432	2,719	419	543	17.2	20.0
グループ合計	5,614	6,420	825	1,077	14.7	16.8

- リテール部門の条件緩和残高は、PCB およびパークレイカードの減少を主因に、14%減の 32 億ポンドとなりました。
 - PCB: 英国住宅ローンは減少しました。主因は「モーゲージ当座勘定」リザーブのうち条件緩和基準を満たす勘定の比率が減少したことです。
 - **パークレイカード**: 減少の主因は、2015 年度第 1 四半期における資産売却、および英国カード・ポートフォリオへの資金流入の減少につながった条件緩和プログラムの対象基準の更新です。
- ホールセール部門の条件緩和残高は、ノンコア部門の減少を主因に、11%減の 24 億ポンドとなりました。コア部門の条件緩和残高は、全事業の小幅増加を反映して、5%増の 22 億ポンドとなりました。

¹ 英国ビジネス・バンキングの条件緩和残高は、現在の事業管理方法に従ってリテールからホールセールに再分類されました。2014 年の残高 2 億 4,000 万ポンドおよび減損引当金 3,000 万ポンドはこれを反映して修正再表示されています。

信用リスク

ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 当グループは、ユーロ圏の継続的なボラティリティに起因する信用リスクおよび市場リスクを認識しており、厳しい経済情勢に伴うリスクを軽減するための組織的な措置を講じるとともに、引き続き注意深く状況をモニタリングしています。
- 2015 年度上半期にスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロスおよびギリシャに対する当グループの貸借対照表上の正味エクスポージャーは 177 億ポンド減少して 256 億ポンドとなりました。これはスペイン事業売却に伴いエクスポージャーが 132 億ポンド減少したことが主因です。
- 2015 年 6 月 30 日現在、イタリアにおける現地の資金調達純額ベースでの不足額は 48 億ユーロ(2014 年度:99 億ユーロ)、ポルトガルにおける同不足額は 17 億ユーロ(2014 年度:19 億ユーロ)でした。スペインにおける資金調達純額ベースの余剰額は 33 億ユーロ(2014 年度:43 億ユーロ)でした。
- 下表は、リスクが高いために経営的視点から特に重点的に管理する対象として社内でモニターしているユーロ圏諸国に対するパークレイズのエクスポージャーを示しています。作成基準は 2014 年度の年次報告書で説明した基準に基づいています。
- 正味エクスポージャーは当グループがさらされている信用リスクの最も適切な測定基準です。総エクスポージャーもオフ・バランスシートの偶発債務および契約債務とともに下表に示しています。

2015 年 6 月 30 日現在	ソブリン (百万ポンド)	金融機関 (百万ポンド)	法人 (百万ポンド)	住宅 モーゲージ (百万ポンド)	その他 リテール貸付 (百万ポンド)	貸借対照表上 の正味エク スポージャー (百万ポンド)	貸借対照表上の 総エク スポージャー (百万ポンド)	偶発債務 および 契約債務 (百万ポンド)
スペイン	173	697	1,099	15	311	2,295	9,285	1,865
イタリア	1,333	426	972	11,895	832	15,458	21,899	2,468
ポルトガル	36	28	350	2,641	1,105	4,160	4,420	1,365
アイルランド	38	2,101	1,247	61	51	3,498	7,077	2,208
キプロス	26	7	44	17	31	125	379	22
ギリシャ	6	5	15	6	3	35	972	-
合計	1,612	3,264	3,727	14,635	2,333	25,571	44,032	7,928

2014 年 12 月 31 日現在

スペイン	108	14,043	1,149	12	248	15,560	24,873	2,863
イタリア	1,716	485	1,128	13,530	1,114	17,973	25,967	3,033
ポルトガル	105	7	531	2,995	1,207	4,845	5,050	1,631
アイルランド	37	3,175	1,453	43	50	4,758	9,445	2,070
キプロス	28	12	61	6	16	123	707	26
ギリシャ	1	11	15	-	-	27	1,279	-
合計	1,995	17,733	4,337	16,586	2,635	43,286	67,321	9,623

市場リスク

管理 VaR の分析

- 下表は、リスク要因別の分散ベースの管理 VaR 合計を示しています。管理 VaR 合計にはインベストメント・バンク、ノンコア、アフリカ・バンキングおよび本社の全トレーディング・ポジションが含まれています。
- 各リスク要因 VaR および管理 VaR 合計には上限が適用され、この上限はリスク管理者によりさらに各事業部門に割り振られます。

資産種別管理 VaR (95%)

	2015年6月30日に終了した6ヶ月			2014年12月31日に終了した6ヶ月			2014年6月30日に終了した6ヶ月		
	日次平均 (百万ポンド)	最大 ¹ (百万ポンド)	最小 ¹ (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 ¹ (百万ポンド)	最小 ¹ (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 ¹ (百万ポンド)	最小 ¹ (百万ポンド)
クレジット・リスク	10	13	8	10	13	9	12	15	9
金利リスク	7	12	4	12	17	7	10	14	6
スプレッド・リスク	3	6	2	4	5	3	5	8	3
ベースス・リスク	3	4	3	3	5	2	6	8	4
株式リスク	9	17	5	10	15	6	12	23	8
コモディティ・リスク	2	2	1	2	3	1	3	8	2
為替リスク	3	5	1	4	23	1	4	6	2
インフレ・リスク	3	5	2	2	3	2	3	4	2
分散効果	(22)	-	-	(26)	-	-	(32)	-	-
管理 VaR 合計	18	25	13	21	36	17	23	31	18

- 金利リスクを除き、2015年度上半期には全資産クラスの VaR が安定的に推移しました。
- 余剰流動性に含まれていた一部ポジションが本社財務バンキング・ブックに移管されたことから、金利リスク平均管理 VaR は42%減の700万ポンドとなりました。これらの質が高く、流動性が高いバンキング・ブック資産は現在、余剰流動性の整合性を持った管理のために、ノントレーディッド市場リスク・エクスポージャーとして計上されています。
- 上記減少とノンコア部門のエクスポージャーの減少が相まって、管理 VaR 合計は14%減の1,800万ポンドとなりました。

利息収入純額の感応度分析

下表は、2015年5月31日現在および2014年12月31日現在で保有されていた非トレーディング金融資産および金融負債の税引前利息収入純額の感応度分析を示しています。

事業部門別利息収入純額の感応度 (AEaR)

2015年5月31日に終了した期間 ^{2,3}	パーソナル・ アンド・コーポレー ト・バンキング (百万ポンド)	パークレイカード (百万ポンド)	アフリカ (百万ポンド) ²	ノン・コア (百万ポンド)	その他 (百万ポンド) ⁴	合計 (百万ポンド)
	+200 ベースス・ポイント	302	(28)	20	19	(87)
+100 ベースス・ポイント	150	(15)	10	10	(62)	93
-100 ベースス・ポイント	(392)	16	(4)	-	63	(317)
-200 ベースス・ポイント	(442)	19	(4)	(1)	64	(364)
2014年12月31日に終了した期間³						
+200 ベースス・ポイント	464	(59)	26	6	(97)	340
+100 ベースス・ポイント	239	(27)	13	3	(58)	170
-100 ベースス・ポイント	(426)	26	(9)	(1)	26	(384)
-200 ベースス・ポイント	(430)	29	(17)	(1)	39	(380)

- PCB 部門では、金利変動に対する一部預金商品エクスポージャーのヘッジ増加により、利息収入純額の感応度が低下しました。

1 各カテゴリーで報告された最大 DVaR と最小 DVaR の数値は、必ずしも全体として報告された最大 DVaR、最小 DVaR と同一の日に生じたわけではありません。したがって、最大 DVaR と最小 DVaR に対する分散効果は重要でないと考えられ、上表から省略されています。

2 入手可能な最新データである2015年5月のデータに基づいています。

3 インベストメント・バンキング事業を除いています。

4 本社保有の余剰流動性のバンキング・ブック資産を除いています。

要約連結財務書類

要約連結損益計算書(未監査)

継続事業	注記 ¹	2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
利息収入純額		6,201	6,082
手数料収入純額		4,004	4,256
トレーディング収益純額		2,660	2,575
投資収益純額		923	356
保険契約に基づく保険料収入純額		351	336
その他の収益		(3)	19
収益合計		14,136	13,624
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(248)	(240)
保険金控除後の収益合計		13,888	13,384
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(973)	(1,086)
営業収益純額		12,915	12,298
人件費	2	(4,864)	(5,730)
インフラ費用	3	(1,590)	(1,568)
一般管理費	3	(3,211)	(2,479)
営業費用		(9,665)	(9,777)
事業売却損ならびに関連会社およびジョイント・ベンチャーの損益に対する持分		(136)	(20)
税引前利益		3,114	2,501
税金	4	(1,006)	(895)
税引後利益		2,108	1,606
以下に帰属するもの:			
親会社の普通株主:		1,611	1,126
その他の株主 ²		159	90
親会社の普通株主合計²		1,770	1,216
非支配持分	5	338	390
税引後利益		2,108	1,606
継続事業からの1株当たり利益			
基本的普通株式1株当たり利益 ²	6	9.9ペンス	7.0ペンス
希薄化後普通株式1株当たり利益 ²	6	9.7ペンス	7.0ペンス

1 財務書類に対する注記は英文原本の56ページから89ページをご参照下さい。

2 その他の株主に帰属する税引後利益1億5,900万ポンド(2014年上半期:9,000万ポンド)は剰余金に計上される税額控除3,200万ポンド(2014年上半期:1,900万ポンド)によって相殺されています。1株当たり利益の計算に当たり、この残りの1億2,700万ポンド(2014年上半期:7,100万ポンド)と非支配持分が税引後利益から控除されています。

要約連結財務書類

要約連結包括利益計算書(未監査)

継続事業		2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)
税引後利益	注記 ¹	2,108	1,606
損益に振替えられる可能性のあるその他の包括(損失)/利益:			
為替換算再評価差額	15	(590)	(1,056)
売却可能投資再評価差額	15	(294)	341
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	15	(646)	254
その他		41	(53)
損益に振替えられる可能性のある包括損失		(1,489)	(514)
損益に振替えられないその他の包括(損失)/利益:			
退職給付の再測定	12	(93)	236
当期その他の包括損失		(1,582)	(278)
当期包括利益		526	1,328
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		325	1,064
非支配持分		201	264
当期包括利益合計		526	1,328

¹ 財務書類に対する注記は英文原本の56ページから89ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表(未監査)

資産	注記 ¹	2015年6月30日	2014年12月31日
		現在 (百万ポンド)	現在 (百万ポンド)
現金および中央銀行預け金		33,341	39,695
他銀行からの取立中の項目		1,227	1,210
トレーディング・ポートフォリオ資産		98,048	114,717
公正価値で測定すると指定された金融資産		33,335	38,300
デリバティブ	8	341,312	439,909
売却可能投資		96,210	86,066
銀行に対する貸付金		44,548	42,111
顧客に対する貸付金		430,719	427,767
リバース・レポ取引およびその他類いの担保付貸付		93,138	131,753
前払金、未収益およびその他の資産		3,778	3,607
関連会社およびジョイント・ベンチャーに対する投資		577	711
有形固定資産		3,620	3,786
のれん		4,832	4,887
無形資産		3,357	3,293
未収還付税および繰延税金資産	4	4,490	4,464
退職給付資産	12	33	56
売却目的非流動資産		4,154	15,574
資産合計		1,196,719	1,357,906
負債			
銀行預り金		55,978	58,390
他銀行への未決済項目		1,539	1,177
顧客預り金		438,270	427,704
レポ取引およびその他類いの担保付借入		85,092	124,479
トレーディング・ポートフォリオ負債		41,818	45,124
公正価値で測定すると指定された金融負債		51,284	56,972
デリバティブ	8	342,964	439,320
発行債券		75,525	86,099
劣後負債	10	19,664	21,153
未払金、繰延収益およびその他の負債		11,838	11,423
引当金	11	3,287	4,135
未払税金および繰延税金負債	4	885	1,283
退職給付債務	12	1,091	1,574
売却目的非流動負債		1,909	13,115
負債合計		1,131,144	1,291,948
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	13	21,523	20,809
その他の剰余金	15	1,334	2,724
利益剰余金		32,099	31,712
親会社の普通株主に帰属する株主資本		54,956	55,245
その他の持分商品	14	4,325	4,322
非支配持分を除く株主資本合計		59,281	59,567
非支配持分	5	6,294	6,391
株主資本合計		65,575	65,958
株主資本および負債合計		1,196,719	1,357,906

¹ 財務書類に対する注記は英文原本の56ページから89ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表(未監査)

	払込済株式資本 および 株式払込剰余金 ¹	その他の 資本性 金融商品 ¹	その他の 剰余金 ¹	利益剰余金	合計	非支配持分 ²	株主資本 合計
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2015年6月30日に終了した半期							
2015年1月1日現在残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958
税引後利益	-	159	-	1,611	1,770	338	2,108
為替換算の変動	-	-	(463)	-	(463)	(127)	(590)
売却可能投資	-	-	(295)	-	(295)	1	(294)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	(634)	-	(634)	(12)	(646)
退職給付の再測定	-	-	-	(94)	(94)	1	(93)
その他	-	-	-	41	41	-	41
当期包括利益合計	-	159	(1,392)	1,558	325	201	526
普通株式の新規発行	118	-	-	-	118	-	118
従業員株式制度に基づく株式発行	596	-	-	303	899	-	899
その他の持分商品に係る支払クーポン	-	(159)	-	32	(127)	-	(127)
自己株式	-	-	2	(706)	(704)	-	(704)
配当金支払額	-	-	-	(746)	(746)	(301)	(1,047)
その他の剰余金の変動	-	3	-	(54)	(51)	3	(48)
2015年6月30日現在残高	21,523	4,325	1,334	32,099	59,281	6,294	65,575
2014年12月31日に終了した半期							
2014年7月1日現在残高	20,655	4,326	(154)	33,241	58,068	6,957	65,025
税引後利益/(損失)	-	160	-	(1,300)	(1,140)	379	(761)
為替換算の変動	-	-	1,501	-	1,501	41	1,542
売却可能投資	-	-	69	-	69	3	72
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	1,284	-	1,284	2	1,286
退職給付の再測定	-	-	-	(32)	(32)	1	(31)
その他	-	-	-	10	10	1	11
当期包括利益合計	-	160	2,854	(1,322)	1,692	427	2,119
普通株式の新規発行	86	-	-	-	86	-	86
従業員株式制度に基づく株式発行	68	-	-	314	382	-	382
その他の持分商品に係る支払クーポン	-	(160)	-	35	(125)	-	(125)
優先株式の償還	-	-	-	(104)	(104)	(687)	(791)
自己株式	-	-	24	(91)	(67)	-	(67)
配当金支払額	-	-	-	(329)	(329)	(297)	(626)
その他の剰余金の変動	-	(4)	-	(32)	(36)	(9)	(45)
2014年12月31日現在残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958
2014年6月30日に終了した半期							
2014年1月1日現在残高	19,887	2,063	249	33,186	55,385	8,564	63,949
税引後利益	-	90	-	1,126	1,216	390	1,606
為替換算の変動	-	-	(941)	-	(941)	(115)	(1,056)
売却可能投資	-	-	345	-	345	(4)	341
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	260	-	260	(6)	254
退職給付の再測定	-	-	-	237	237	(1)	236
その他	-	-	-	(53)	(53)	-	(53)
当期包括利益合計	-	90	(336)	1,310	1,064	264	1,328
普通株式の新規発行	64	-	-	-	64	-	64
従業員株式制度に基づく株式発行	704	-	-	379	1,083	-	1,083
持分商品の発行および交換	-	2,263	-	(155)	2,108	(1,527)	581
その他の持分商品に係る支払クーポン	-	(90)	-	19	(71)	-	(71)
自己株式	-	-	(67)	(775)	(842)	-	(842)
配当金支払額	-	-	-	(728)	(728)	(334)	(1,062)
その他の剰余金の変動	-	-	-	5	5	(10)	(5)
2014年6月30日現在残高	20,655	4,326	(154)	33,241	58,068	6,957	65,025

¹ 株式資本、その他の持分商品およびその他の剰余金の詳細については英語原本71ページをご参照下さい。

² 非支配持分の詳細については英語原本59ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

継続事業	2015年6月30日	2014年6月30日
	に終了した半期 (百万ポンド)	に終了した半期 (百万ポンド)
税引前利益	3,114	2,501
非現金項目の調整	2,998	1,760
営業資産および負債の変動	6,976	(3,082)
法人税等支払額	(929)	(586)
営業活動からのキャッシュ純額	12,159	593
投資活動からのキャッシュ純額	(13,569)	7,463
財務活動からのキャッシュ純額	(1,582)	(2,202)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	(255)	(1,380)
現金および現金同等物の純(減少)／増加	(3,247)	4,474
現金および現金同等物 期首現在	78,479	81,754
現金および現金同等物 期末現在	75,232	86,228

財務書類に対する注記(抜粋)

2. 人件費

	2015年6月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2014年12月31日 に終了した半期 (百万ポンド)
報酬費用		
繰延賞与費用	472	573
当年度賞与費用	456	430
販売手数料、コミットメントおよびその他のインセンティブ	66	111
パフォーマンス・コスト	994	1,114
給与	2,503	2,510
社会保険料	307	363
退職後給付	(163)	327
その他の報酬費用	217	296
報酬費用合計	3,858	4,610
その他の人材調達費用		
アウトソーシング	543	532
余剰人員削減および事業再編費用	71	253
臨時従業員費用	316	263
その他	76	72
その他の人材調達費用合計	1,006	1,120
人件費合計	4,864	5,730

人件費合計は 15%減の 48 億 6,400 万ポンドとなりました。

- 当グループのパフォーマンス・コストは、繰延賞与費用の減少を主因に、11%減の 9 億 9,400 万ポンドとなりました。
- 確定退職給付負債の一部の評価額が法定引当金に合わせて調整されたため、2015 年度第 1 四半期において、4 億 2,900 万ポンド(2014 年度上半期:ゼロポンド)の減額に伴い、退職後給付に係る 1 億 6,300 万ポンドの利益(2014 年度上半期:3 億 2,700 万ポンドの費用)が認識されました。
- その他の人材調達費用は 10%減の 10 億 600 万ポンドとなりました。この主因は、2014 年度上半期における 1 回限りの事業再編に伴い、余剰人員削減および事業再編費用が 72%減の 7,100 万ポンドとなったことです。

この結果、当グループの調整後営業収益純額に対する報酬の比率は 32%(2014 年度:38%)に低下しました。

通年の業績評価が可能になるまで報酬委員会はインセンティブ報奨に関する決定を行わないため、2015 年度の賞与プールに関してまだ報奨の付与は行なわれていません。上半期の当年度賞与費用は会計上の要件に従って見積もられた費用に対する引当金を示しています。

財務書類に対する注記(抜粋)

11. 引当金

	2015年 6月30日現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日現在 (百万ポンド)
英国の顧客に対する補償		
- 支払保証保険(PPI)に係る補償	1,268	1,059
- 金利ヘッジ商品に係る補償	108	211
- パッケージ銀行口座	250	-
その他顧客に対する補償	398	375
法律、競争および当局関連	484	1,690
余剰人員削減および事業再編	261	291
未実行の契約上のコミットド・ファシリティおよび保証	79	94
不利な契約	164	205
その他引当金	275	210
合計	3,287	4,135

支払保障保険(PPI)に係る補償

2015年6月30日現在で、パークレイズは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および請求処理費用に対して累計総額60億ポンドを引当金として認識していました。このうち47億ポンドが取り崩され、引当金の残高は13億ポンドとなっています。

2015年6月30日までに、顧客が開始した140万件(2014年12月31日現在:130万件)の請求¹が受理され、処理されています。2015年度上半期に受理された請求件数は2014年度下半期対比で14%減少しました。しかしながら、請求管理会社(CMC)からの請求件数が一定の水準を保っているため、減少率は従来の予想を下回っています。

請求件数が予想ほど低下しなかった結果、2015年度上半期には7億5,000万ポンドの追加引当金が認識されました。

引当金は、経営者の重大な判断が継続的に伴う多くの重要な仮定とモデリングを用いて算出されています。

- 顧客が開始した請求件数 - 受理されたものの未処理の請求および今後顧客が開始する請求の見積もりで、後者は時間の経過とともに件数が減少すると予想されています。
- 積極的の回答率 - 積極的な通知郵送の結果発生した請求件数。
- 承認率 - 審査の結果、有効であるとして承認された請求の比率。
- 平均補償額 - 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。

これらの仮定は、特にCMCの活動から生じる苦情を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的なものです。

現在の引当金はPPIに係る補償のあらゆる将来的な予想費用に関するパークレイズの最良の見積もりを表しています。しかしながら、最終的な結果が現在の見積もりと異なる可能性があります。その差異が重要な場合には引当金が増額または減額されることになります。引当金に含まれている費用の大部分は2015年度および2016年度に発生するであろうと現時点では予測しています。

下表は、重要な仮定別に2015年6月30日までの実績データ、引当金算出に使用した予測の仮定および感応度分析を詳述し、将来の予想についての仮定が高すぎるまたは低すぎると判明した場合の引当金への影響を説明しています。

仮定	2015年 6月30日までの		感応度分析 引当金の増加/減少
	累計実績	将来の予想	
顧客が開始した請求の受理および処理件数 ¹	142万件	27万件	5万件 = 9,100万ポンド
積極的な通知郵送	68万件	13万3,000件	5万件 = 1,500万ポンド
積極的な通知郵送に対する回答率	25%	23%	1% = 400万ポンド
請求1件当たりの平均承認率 ²	84%	87%	1% = 600万ポンド
有効請求1件当たりの平均補償額 ³	1,794ポンド	1,781ポンド	100ポンド = 3,000万ポンド

¹ これまでに受理した請求件数の合計はCMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。この感応度はFOSの委託に関連する費用と事務費用を含んでいます。

² 請求1件当たりの平均承認率はPPI保険証書が存在しない場合を除いています。

³ 平均補償額は保険契約1件当たりベースで表示されています。

財務書類に対する注記(抜粋)

英国最高裁判所の 2014 年の判決(Plevin 判例)は、固有の事実に基づき、顧客に対する一時払い保険料の PPI 販売に関連して支払われる手数料額を開示しないことは、英国消費者信用法の規定に基づく不公正な関係の構築となりうるとしています。パークレイズは、過去の PPI 販売にこの判決が及ぼしうるより広範な影響を判断するために金融行為監督機構(FCA)および金融オンプスマン・サービス(FOS)と積極的に協議しております。この不確実性のため、現時点では Plevin 判例が及ぼしうる財務上の影響の見積もりを示すことは実務的ではなく、本事案の結果が重大なものとならないという保証はありません。

パッケージ銀行口座(PBA)に係る補償

2015 年 6 月 30 日現在、パークレイズはパッケージ銀行口座(PBA)に関して受理した苦情に対して発生する顧客補償および関連事務費用について 2 億 5,000 万ポンドの引当金を積み立てています。

引当金は、経営者の重大な判断が伴う多くの仮定を用いて算出されています。このうち、最も重要な仮定は今後の苦情件数、平均苦情承認率および苦情 1 件当たりの平均補償額です。

財務書類に対する注記(抜粋)

19. セグメント別開示

事業部門別業績の内訳	パーソナル・アンド・ コーポレート・バンキング	パークレイカード	アフリカ・ バンキング	インベストメント・ バンク
2015年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	4,384	2,357	1,858	4,299
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(178)	(563)	(193)	(1)
営業収益純額	4,206	1,794	1,665	4,298
営業費用	(2,491)	(961)	(1,116)	(2,795)
目標達成費用	(139)	(56)	(13)	(63)
その他の(費用)/収益純額 ¹	(48)	18	4	-
税引前利益	1,528	795	540	1,440
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	2,899	419	540	4,201

事業部門別業績の内訳	本社	パークレイズ・ コア	パークレイズ・ ノンコア	調整後 パークレイズ・ グループ
2015年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	42	12,940	42	12,982
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1)	(936)	(37)	(973)
営業収益純額	41	12,004	5	12,009
営業費用	(85)	(7,448)	(498)	(7,946)
目標達成費用	(22)	(293)	(23)	(316)
その他の収益/(費用)純額 ¹	4	(22)	4	(18)
税引前(損失)/利益	(62)	4,241	(512)	3,729
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	526	8,585	3,382	11,967

事業部門別業績の内訳	パーソナル・アンド・ コーポレート・バンキング	パークレイカード	アフリカ・ バンキング	インベストメント・ バンク
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	4,361	2,124	1,773	4,257
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(230)	(537)	(196)	26
営業収益純額	4,131	1,587	1,577	4,283
営業費用	(2,554)	(822)	(1,082)	(2,943)
目標達成費用	(115)	(36)	(17)	(282)
その他の収益純額 ¹	6	35	6	-
税引前利益	1,468	764	484	1,058
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	2,681	362	524	4,462

事業部門別業績の内訳	本社	パークレイズ・ コア	パークレイズ・ ノンコア	調整後 パークレイズ・ グループ
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	159	12,674	658	13,332
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	(937)	(149)	(1,086)
営業収益純額	159	11,737	509	12,246
営業費用	(91)	(7,491)	(893)	(8,383)
目標達成費用	(2)	(453)	(41)	(494)
その他の収益/(費用)純額 ¹	-	47	(66)	(20)
税引前利益/(損失)	66	3,840	(491)	3,349
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	433	8,462	4,686	13,149

¹ その他の収益/(費用)の内容は、関連会社およびジョイント・ベンチャーの税引後損益に対する持分、子会社、関連会社およびジョイント・ベンチャーの売却益(損)ならびに合併に係る利益です。

財務書類に対する注記(抜粋)

調整後ベースから法定ベースへの調整	パークレイズ・グループ調整後	当グループ自身の信用度	英国の顧客に対する補償引当金	米国リーマン買収資産に係る利益	主に外国為替に関する継続的調査および訴訟に係る引当金	スペイン事業の売却損	確定退職給付負債の一部に係る評価益	パークレイズ・グループ法定
2015年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	12,982	410	-	496	-	-	-	13,888
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(973)	-	-	-	-	-	-	(973)
営業収益純額	12,009	410	-	496	-	-	-	12,915
営業費用	(7,946)	-	(1,032)	-	(800)	-	429	(9,349)
目標達成費用	(316)	-	-	-	-	-	-	(316)
その他の(費用)/収益純額	(18)	-	-	-	-	(118)	-	(136)
利益/(損失)	3,729	410	(1,032)	496	(800)	(118)	429	3,114
2014年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	13,332	52	-	-	-	-	-	13,384
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1,086)	-	-	-	-	-	-	(1,086)
営業収益純額	12,246	52	-	-	-	-	-	12,298
営業費用	(8,383)	-	(900)	-	-	-	-	(9,283)
目標達成費用	(494)	-	-	-	-	-	-	(494)
その他の(費用)/収益純額	(20)	-	-	-	-	-	-	(20)
利益/(損失)	3,349	52	(900)	-	-	-	-	2,501

財務書類に対する注記(抜粋)

20. バークレイズ・ピーエルシー親会社貸借対照表

	2015年6月30日現在 (百万ポンド)	2014年12月31日現在 (百万ポンド)
資産		
子会社に対する投資	34,303	33,743
子会社に対する貸付金	5,318	2,866
デリバティブ	194	313
その他の資産	184	174
資産合計	39,999	37,096
負債		
銀行預り金	519	528
劣後負債	800	810
発行債券	4,518	2,056
その他の負債	-	10
負債合計	5,837	3,404
株主資本		
払込済株式資本	4,193	4,125
株式払込剰余金	17,330	16,684
その他の持分商品	4,326	4,326
株式償還準備金	394	394
利益剰余金	7,919	8,163
株主資本合計	34,162	33,692
負債および株主資本合計	39,999	37,096

子会社に対する投資

子会社に対する投資 343 億 300 万ポンド(2014 年度:337 億 4,300 万ポンド)はバークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する投資であり、追加的 Tier 1 (AT1) 証券 43 億 2,600 万ポンド(2014 年度:43 億 2,600 万ポンド)を含んでいます。当期中の 5 億 6,000 万ポンドの増加はバークレイズ・バンク・ピーエルシーに対して行なった現金拠出によるものです。

子会社に対する貸付金および発行債券

2015 年度上半期にバークレイズ・ピーエルシーは固定金利優先債券 40 億ポンドを発行し、発行債券として会計処理しました。この取引により調達した資金はバークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する固定金利優先貸付金 40 億ポンドを実行するために用いられました。この貸付金には、バークレイズ・ピーエルシーが発行した債券に対応する格付けが付されています。